



使用説明書 〈RTIFF 編〉

-
- 1 はじめに**
 - 2 印刷するには**
 - 3 プリンターの設定**
 - 4 印刷条件**
 - 5 印刷オプション**
 - 6 付録**

ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『本機のご利用にあたって』『安全上のご注意』をお読みください。



はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載しております。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。



複製、印刷が禁止されているもの

本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。

1) 複製、印刷することが禁止されているもの

- (見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。)
- ・紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
 - ・日本や外国の郵便切手、印紙

(関係法律)

- ・紙幣類似証券取締法
- ・通貨及証券模造取締法
- ・郵便切手類模造等取締法
- ・印紙等模造取締法
- ・(刑法 第148条第162条)

2) 不正に複製、印刷することが禁止されているもの

- ・外国の紙幣、貨幣、銀行券
- ・株券、手形、小切手などの有価証券
- ・国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
- ・個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画

(関係法律)

- ・刑法 第149条 第155条 第159条 第162条
- ・外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

3) 著作権法で保護されているもの

著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

* 画面の表示内容やイラストはオプションによって異なります。

* 本書は、原則的にオプションを装着した状態の画面と外観イラストを使って説明しています。

使用説明書の分冊構成

お使いになる目的に応じて、必要な使用説明書をお読みください。

★重要

- ・本機の使用説明書は、紙マニュアルと電子マニュアル（PDF形式）が用意されています。
- ・電子マニュアルは、付属のCD-ROMに収録されています。
- ・提供される形態は使用説明書により異なります。詳しくは、「マニュアル一覧表」を参照してください。
- ・PDF形式の使用説明書を表示するには、Adobe Acrobat Reader/Adobe Readerが必要です。

◆本機のご利用にあたって

「安全上のご注意」について記載しています。本機のご利用前に必ずお読みください。
また、本機で使用できる機能の概要、機械を使うための準備、操作部の説明、文字入力方法、付属CDのインストール方法などについても説明しています。

◆初期設定編

本機を使うための各機能の初期設定方法、アドレス帳の登録方法、機器の接続方法について説明しています。

◆こんなときには

困ったときの対処方法や、消耗品の交換などについて説明しています。

◆セキュリティ編

管理者向けの説明書です。本機を不正な使用やデータの改ざんといった脅威から守るためにの方法、各管理者の設定方法、ユーザー認証の設定方法などについて説明しています。
セキュリティ強化機能や認証の設定を行う前に必ずお読みください。

◆コピー機能／ドキュメントボックス機能編

コピーを使うための設定、機能と操作方法、原稿の設定方法について説明しています。また、ドキュメントボックスの使用方法についても説明しています。

◆プリンター機能編

プリンターを使うための設定、機能と操作方法について説明しています。

◆スキャナー機能編

スキャナーを使うための設定、機能と操作方法について説明しています。

◆ネットワークガイド

ネットワーク環境で使う方法、付属のソフトウェアを使う方法について説明しています。

◆RP-G/L2編

RP-DL2エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

◆RTIFF編（本書）

RTIFFエミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

◆その他の使用説明書

- ・クイックガイド
- ・PostScript 3編

マニュアル一覧表

分冊名	紙マニュアル 	電子マニュアル (PDF 形式) 
本機のご利用にあたって	あり	なし
初期設定編	なし	あり
こんなときには	あり	なし
セキュリティ編	あり	なし
コピー機能 / ドキュメントボックス 機能編	なし	あり
プリンター機能編	なし	あり
スキャナー機能編	なし	あり
ネットワークガイド	なし	あり
RP-GL/2 編	なし	あり
RTIFF 編	なし	あり
PostScript 3 編	なし	あり
クイックガイド	あり	なし

目次

使用説明書の分冊構成	1
マニュアル一覧表	2
マークについて	6

1. はじめに

RTIFF エミュレーションとは	7
印刷するための準備	8
使用上の注意事項	9
ソフトウェア著作権表示	10

2. 印刷するには

UNIX ワークステーションから使う	13
DOS/V パソコンから使う	14
パラレル接続したプリンターの場合	14
ネットワーク接続したプリンターの場合	15
ftp コマンドで印刷する	16

3. プリンターの設定

エミュレーションを切り替える	19
印刷条件を設定する	20
印刷条件リストを印刷する	22
印刷条件リストの見方	23
プログラムを登録する	24
プログラムを呼び出す	26
プログラムを削除する	27
プログラム内容を印刷する	29
給紙トレイを選択する	30
印刷部数を設定する	31

4. 印刷条件

印刷条件設定項目一覧表	33
印刷条件の設定項目	36
給紙トレイ	36
用紙サイズ	37
リミットレス給紙	38
印刷方向	39
エンジン解像度	40
変倍率	40
左余白	41
右余白	41
上余白	42
下余白	42
Xオフセット	43
Yオフセット	43

マルチカラム	44
マルチロー	45
横変倍率	46
縦変倍率	46
白黒反転	46
明るさ	47
コントラスト	47
中央配置	47
自動変倍	48
エラー印刷	49
印刷領域	49
実サイズ変倍	50
自動用紙選択	51
用紙超過率	51
データバッファ	52
不定形オートカット	53
カット紙トレイ優先	54
画像の向き	55
速度優先	56
自動縮小	57
自動縮小調整	59

5. 印刷オプション

印刷オプションとは	61
印刷オプションの指定方法	62
印刷オプション一覧表	63
印刷オプションの指定項目	66
filetype	66
tray	67
paper	68
bin	70
autotray, noautotray	70
portrait, landscape	71
200dpi, 300dpi, 400dpi, 600dpi	72
copies	72
mag	73
leftspace	74
rightspace	75
topspace	76
bottomspace	77
xoffset	78
yoffset	79
multicols	80
multirows	81
xmag	82
ymag	82
negative, positive	83
brightness	83
contrast	84
center, nocenter	84
fit,nofit	85
tiffifit, notiffit	86
autopaper	87
freesize	91

errorprint, noerrorprint	92
maxarea, normalarea	93
diskbuffer, memorybuffer	93
orientation	94
normalspeed, highspeed	95
autoreduce	96
cuttray, nocuttray	98
usercode	98
pjl	98
qty	99
outbin	99
imagedirection	100
printertstamp	100
印刷オプションの省略形	101

6. 付録

入力データの仕様	103
印刷できる TIFF ファイル	103
ヘッダー (TIFF ファイル)	103
ディレクトリー	103
タグ	104
ビットマップイメージ (TIFF ファイル)	105
印刷できる CALS ファイル	107
ヘッダー (CALS ファイル)	107
ビットマップイメージ (CALS ファイル)	109
エミュレーション切り替えコマンド	109
サマリー印刷指定コマンド	110
印刷オプション指定コマンド	111
エラーメッセージ	113
エラーメッセージを印刷するには	114
エラーメッセージの形式と意味	114
警告エラー	115
致命的エラー	117
思いどおりに印刷できないとき	120
索引	123

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

⚠ 警告

※安全上のご注意についての説明です。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。『本機のご利用にあたって』「安全上のご注意」にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

⚠ 注意

※安全上のご注意についての説明です。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。『本機のご利用にあたって』「安全上のご注意」にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

★ 重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になる項目も記載していますので、必ずお読みください。

↓ 補足

機能についての補足事項、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

参考

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。各タイトルの一番最後に記載しています。

[]

キーとボタンの名称を示します。

『』

本書以外の分冊名称を示します。

1. はじめに

1

RTIFF エミュレーションや印刷するための準備について説明しています。

RTIFF エミュレーションとは

RTIFF エミュレーションとは、UNIX ワークステーションやパソコンから TIFF (Tagged Image File Format) 形式のビットマップイメージデータを印刷することができる拡張エミュレーションです。

RTIFF エミュレーションでは、プリンター内部で TIFF ファイル、または CALS ファイルがラスタライズされます。ラスタライズとは、ビットマップイメージデータに基づいて 1 ドットずつ描画することをいいます。このため、プリンタードライバーは必要なく、印刷条件はプリンター本体で設定します。

また、プリンターが TCP/IP ネットワークに接続されている場合、UNIX ワークステーションやパソコンから印刷するときに、印刷のコマンドに印刷オプションを付けて印刷条件を一時的に変更することが可能です。印刷オプションで指定しない条件は、プリンター本体で設定した印刷条件に従います。

補足

- RTIFF エミュレーションで使用できるのは、モノクロ印刷です。
- 形式によっては、印刷できない TIFF ファイル、または CALS ファイルもあります。TIFF ファイル、または CALS ファイルの形式については、「入力データの仕様」を参照してください。

参照

- P.103 「入力データの仕様」

印刷するための準備

RTIFF エミュレーションで印刷するために必要な手順について説明します。

1

1 プリンターの接続

プリンターがパソコンやネットワークに正しく接続されていることを確認します。

2 パソコン側の準備

印刷する TIFF ファイル、または CALS ファイルを用意します。

3 プリンターの設定

プリンター本体の設定でエミュレーションを RTIFF モードに切り替え、給紙トレイの選択など必要な印刷条件を設定します。

↓ 補足

- ・プリンターとパソコンの接続について詳しくは、『初期設定編』「インターフェースを接続する」を参照してください。
- ・操作部や画面について詳しくは、『本機のご利用にあたって』「操作部の名称とはたらき」、『プリンター機能編』「画面について」を参照してください。
- ・プリンター初期設定の「エミュレーション検知」を「する」に設定すると、RTIFF モードがエミュレーション検知の対象になり、操作部やエミュレーション切り替えコマンドを使用しなくとも、TIFF ファイルを送信すると自動的に RTIFF モードに切り替わります。「エミュレーション検知」の設定について詳しくは、『初期設定編』「エミュレーション検知」を参照してください。

目 参照

- ・『初期設定編』「インターフェースを接続する」
- ・『初期設定編』「エミュレーション検知」
- ・『本機のご利用にあたって』「操作部の名称とはたらき」
- ・『プリンター機能編』「画面について」

使用上の注意事項

RTIFF エミュレーションには、以下の制約がありますので注意してください。

- ・RTIFF エミュレーションで使用できるのは、モノクロ印刷です。
- ・ビットマップ画像データを、印刷条件や印刷オプションを指定して変倍印刷すると、何も指定しないで印刷する場合に比べて、印刷に時間がかかることがあります。
- ・ビットマップ画像データを回転して印刷するとき、印刷に時間がかかることがあります。回転は、印刷条件や印刷オプションで意図的に指定した場合のほか、状況によっては意図しないときにも起ります。
- ・TIFF ファイル、または CALS ファイルの形式によっては、印刷できない TIFF ファイル、または CALS ファイルもあります。
- ・TIFF 形式のビットマップイメージデータには、EOF (ファイルの終端) または EOD (データの終端) を明示するデータや構造が存在しません。このため、RTIFF エミュレーションでは、タグ情報で与えられた幅と高さ分のビットマップデータを受信した時点を EOD とし、印刷指示があったものとして処理します。
- ・グレースケールの画像のように、1ピクセルが多値のビットマップイメージデータは、RTIFF エミュレーション独自の内部処理で 2 値のイメージデータ（モノクロの画像）に変換されて印刷されます。2 値への変換方法は内部的に固定で変更できません。（2 値への変換方法とはハーフトーン処理やガンマ補正などです）
- ・印刷可能なビットマップイメージの幅とデータサイズには、制限があります。
- ・印刷中や印刷データの受信中は、以下の操作は行わないでください。
 - ・印刷条件の設定
 - ・システム条件の設定
 - ・テスト印刷の操作
 - ・エミュレーションプログラムの呼び出し
 - ・プログラムの登録

補足

- ・TIFF ファイル、または CALS ファイルの形式については、「入力データの仕様」を参照してください。
- ・印刷可能なビットマップイメージとデータサイズの制限については、「ビットマップイメージ」を参照してください。

参考

- ・P.103 「入力データの仕様」
- ・P.105 「ビットマップイメージ (TIFF ファイル)」

ソフトウェア著作権表示

ソフトウェアの著作権等に関する情報を記載しています。

- RTIFF エミュレーションのソフトウェアは、カリフォルニア大学バークレイ校の開発によるものを含みます。

その配布条件に従い、バークレイ校の開発部分に関する著作権表示を以下に記します。

Copyright 1979, 1980, 1983, 1986, 1988, 1989, 1991, 1992, 1993, 1994

The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1) Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and following disclaimer.
- 2) Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3) All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:

This product includes software developed by the University of California, Berkeley, and its contributors.

- 4) Neither the name of the University nor the names of contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- RTIFF エミュレーションのソフトウェアは、Sam Leffler 氏とシリコン・グラフィックス社が開発したフリーソフトウェアの TIFF ライブラリーを含みます。その配布条件に従い、TIFF ライブラリー部分に関する著作権表示を以下に記します。

Copyright[©] 1988, 1989, 1990, 1991 Sam Leffler

Copyright[©] 1991 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Stanford and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

2. 印刷するには

パソコンから印刷するための操作方法を説明しています。

UNIX ワークステーションから使う

2

UNIX ワークステーションでは、コマンドシェルで印刷する TIFF ファイル、または CALS ファイルを指定して印刷を実行します。印刷を実行する前に、あらかじめプリンター本体で印刷条件を設定してください。

1 印刷のコマンドを実行します。

コマンド例 (rsh コマンドを使用する場合)

```
% rsh hostname print < tiff-filename
```

コマンド例 (rsh コマンドを使用し、印刷オプションを指定した場合)

```
% rsh hostname print filetype=RTF,copies=3,center < tiff-filename
```

「tiff-filename」のところは、印刷したい TIFF ファイル、または CALS ファイル名を指定してください。

↓ 補足

- ・印刷に使用できるコマンドについて詳しくは、『ネットワークガイド』「Windows からのファイル直接印刷」を参照してください。
- ・印刷オプションの指定は、ネットワークプロトコルに TCP/IP を使用している場合に有効です。印刷オプションをコマンドに指定すると、プリンター本体で設定している印刷条件を一時的に変更して印刷できます。

目 参照

- ・『ネットワークガイド』「Windows からのファイル直接印刷」

DOS/V パソコンから使う

DOS/V パソコンでは、コマンドプロンプトから印刷を実行します。印刷を実行する前に、あらかじめプリンター本体で印刷条件を設定してください。

2

パラレル接続したプリンターの場合

パラレル接続した場合のコマンド方法です。

1 Windows の場合、コマンドプロンプトに移ります。

2 印刷のコマンドを実行します。

コマンド例

```
C:\WINDOWS>copy /b tiff-filename lpt1
```

◆ コマンドプロンプトの入り方

- ・Windows 95/98 の場合：
[スタート]-[プログラム]-[MS-DOS プロンプト]
- ・Windows Me の場合：
[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[MS-DOS プロンプト]
- ・Windows 2000 の場合：
[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト]
- ・Windows XP, Windows Server 2003 の場合：
[スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト]
- ・Windows Vista の場合：
[スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト]
- ・Windows NT 4.0 の場合：
[スタート]-[プログラム]-[コマンドプロンプト]

補足

- ・オプションスイッチ「/b」を必ず付けてください。「/b」スイッチを付けないと、TIFF ファイル、または CALS ファイルが正常に印刷されません。（/b は、バイナリーでデータを送信するという指定です。）
- ・「tiff-filename」のところは、印刷したい TIFF ファイル、または CALS ファイル名を指定してください。

ネットワーク接続したプリンターの場合

ネットワーク接続した場合のコマンド方法です。

- 1** Windows の場合、コマンドプロンプトに移ります。
- 2** SMBでのネットワークパス名を、パソコンの空いているプリンターポートに割り当てます。 2

コマンド例

C:\WINDOWS>net use lpt3: pathname

「pathname」のところは、プリンターのネットワークパス名を指定してください。

- 3** 割り当てたプリンターポートで、印刷のコマンドを実行します。

コマンド例

C:\WINDOWS>copy /b tiff-filename lpt3

「tiff-filename」のところは、印刷したい TIFF ファイル、または CALS ファイル名を指定してください。

- 4** 手順 **2** で割り当てたプリンターポートを開放する場合は、以下のコマンドを実行してください。

コマンド例

C:\WINDOWS>net use lpt3: /d

 **補足**

- ・プリンターのネットワークパス名は、システム設定リストを印刷すると確認できます。システム設定リストの印刷について詳しくは、『初期設定編』「テスト印刷」を参照してください。

 **参照**

- ・『初期設定編』「テスト印刷」

ftp コマンドで印刷する

ネットワークプロトコルに TCP/IP を使用している場合、ftp コマンドを使用しても印刷できます。

1 Windows の場合、コマンドプロンプトに移ります。

2 コマンドプロンプトで、ftp コマンドを入力します。

ftp IPaddress

「IPaddress」には、TIFF ファイル、または CALS ファイルを送信したいプリンターの IP アドレスを指定してください。

ftp が起動し、ユーザー名を入力するプロンプトが表示されます。

User:

3 Enter キーを押します。

必要に応じてユーザー名を入力してください。

パスワードを入力するプロンプトが表示されます。

Password:

4 Enter キーを押します。

パスワードの入力は必要ありません。

ftp プロンプトが表示されます。

ftp>

5 「bin」と入力し、バイナリモードで TIFF ファイル、または CALS ファイルを送信する設定にします。

バイナリモードに変更しないと、TIFF ファイル、または CALS ファイルが正常に印刷されません。

ftp> bin

6 ftp プロンプトで印刷するファイルを転送します。

ftp> put tiff-filename

「tiff-filename」のところは、印刷したい TIFF ファイル、または CALS ファイル名を指定してください。

put サブコマンドに印刷オプションを指定すると、プリンター本体で設定した印刷条件を一時的に変更して印刷できます。

コマンド例

ftp> put tiff-filename filetype=RTF,copies=3,center

7 ftp を終了するときは、ftp プロンプトで「bye」と入力します。

 **補足**

- Windows 2000/XP/Vista、Windows Sever 2003、Windows NT 4.0 の場合、lpr コマンドや rcp コマンドを使用しても印刷できます。
- 印刷に使用できるコマンドや、コマンド別の印刷方法や、注意事項について詳しくは、『ネットワークガイド』「オプション設定」を参照してください。
- 印刷オプションについて詳しくは、「印刷オプションとは」を参照してください。

 **参照**

- P.61 「印刷オプションとは」
- 『ネットワークガイド』「オプション設定」

2

3. プリンターの設定

プリンターの設定について説明しています。

エミュレーションを切り替える

エミュレーションを「RTIFF」に設定します。

3

1 [プリンター] キーを押します。

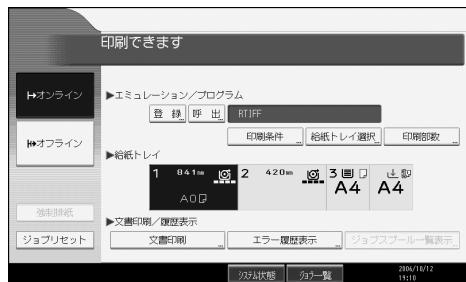
2 [呼出] を押します。



3 [RTIFF] を押して、[OK] を押します。



エミュレーションが切り替わり、プリンターの画面に戻ります。



印刷条件を設定する

印刷するデータに応じた印刷条件をプリンターの操作部で設定できます。
エミュレーションがRTIFFになっていることを確認してから、操作してください。

1 [プリンター] キーを押します。

2 [印刷条件] を押します。

3



3 項目を押して、印刷条件を設定します。

変更したい印刷条件の項目が表示されていない場合は、[▲前へ] または [▼次へ] を押してタッチパネルの表示を切り替えます。



4 [終了] を押します。

プリンターの画面に戻ります。

補足

- ・一度プリンターで設定した印刷条件は、それ以降に受信したデータの印刷に対して、印刷条件を再設定するまで有効です。ただし、次の場合はリセットされます。
 - ・エミュレーションが切り替えられた場合
 - ・プリンターの電源が切られた場合
- ・印刷中や印刷データの受信中は、印刷条件を変更しないでください。
- ・印刷オプションを指定した場合、プリンタ一本体で設定した印刷条件が無効になる項目があります。
- ・印刷条件をプログラムに登録しておくと、プログラムを選択するだけで、同じ条件で印刷できます。「プログラムを登録する」を参照してください。
- ・印刷条件の設定項目について詳しくは、「印刷条件の設定項目」を参照してください。
- ・設定した印刷条件は、印刷条件リストで内容を確認できます。「印刷条件リストを印刷する」を参照してください。

参考

- ・P.22 「印刷条件リストを印刷する」
- ・P.24 「プログラムを登録する」
- ・P.36 「印刷条件の設定項目」

印刷条件リストを印刷する

現在設定されている印刷条件の一覧を印刷して確認できます。

給紙トレイの中から自動で普通紙／再生紙がセットされているトレイを優先的に選択します。カット紙トレイが装着されている場合、印刷条件の「カット紙トレイ優先」の設定に関わらず、カット紙トレイからの給紙が優先されます。

ロール紙トレイが選択された場合、ロール紙のサイズにより、A4 (□)、またはA4 (□) で印刷されます。

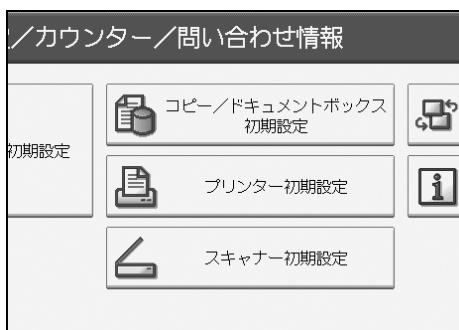
エミュレーションが RTIFF になっていることを確認してから、操作してください。

3

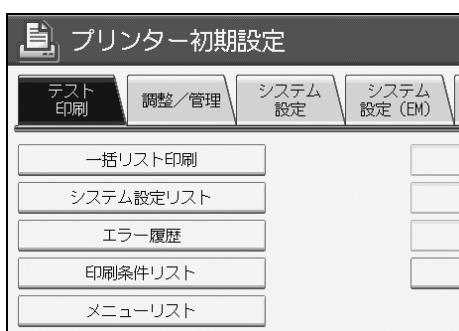
1 [初期設定／カウンター／問い合わせ情報] キーを押します。

2 [プリンター初期設定] を押します。

印刷待ちデータが残っていると、[プリンター初期設定] を押すことができなくなります。この場合は、[強制排紙] を押して残っているデータを印刷するか、[ジョブリセット] を押してデータを破棄してください。



3 [テスト印刷] タブを押し、[印刷条件リスト] を押します。



印刷条件リストが印刷されます。

4 [終了] を押します。

初期設定のメインメニュー画面が表示されます。

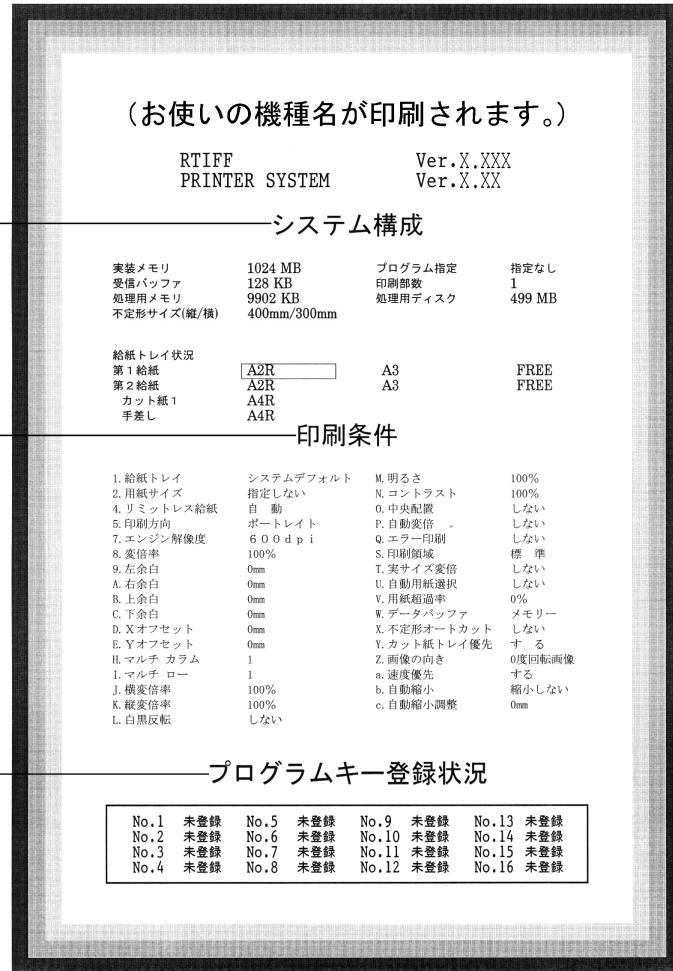
5 [終了] を押します。

プリンターの画面に戻ります。

印刷条件リストの見方

RTIFF の印刷条件リストの印刷例を示します。

ご使用のプリンターの設定や状態により、ここに示す例と異なる結果が出る場合があります。



1 システム構成

プリンター内部の情報です。メモリー容量、受信バッファの容量、処理用メモリーの容量、指定されているプログラム、設定されている印刷部数、処理用ディスクの容量、給紙トレイにセットされている用紙サイズが印刷されます。

2 印刷条件

印刷条件の各設定項目に設定されている値が印刷されます。

3 プログラムキー登録状況

プログラムの登録状況が印刷されます。

補足

- ・不定形サイズ(縦 / 横)は、RTIFF エミュレーションで直前に使用したサイズが印刷されます。

プログラムを登録する

設定した印刷条件は、プログラムとしてプリンターに登録できます。

プリンターで設定したエミュレーションモードや印刷条件は、電源を切ったり、エミュレーションを切り替えるとすべて工場出荷時の設定に戻ります。毎回設定し直さなくてもよいように、印刷条件をプログラムとしてプリンターに記憶させることができます。これをプログラム登録といいます。プログラムは16個まで登録でき、電源を切っても保存されます。

1 [プリンター] キーを押します。

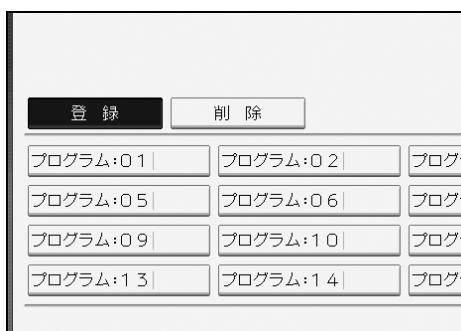
3

2 必要な印刷条件を設定します。

3 [登録] を押します。



4 [登録] が選択されていることを確認し、登録するプログラム番号を押して、[OK] を押します。



登録済みのプログラム番号には、登録時のエミュレーションが表示されます。登録済みのプログラム番号を指定して [OK] を押すと、確認画面が表示されます。上書きするときは、[登録する] を押します。新たな登録内容に書き換えられます。

5 プログラムが登録され、プリンターの画面に戻ります。

▼ 補足

- すでに登録してあるプログラムを利用して、少し異なるプログラムを登録することもできます。元になるプログラムを呼び出し、印刷条件を設定し直してプログラムを登録します。プログラムを呼び出す方法について詳しくは、「プログラムを呼び出す」を参照してください。
- 印刷条件の設定方法について詳しくは、「印刷条件を設定する」を参照してください。
- 印刷条件の設定項目について詳しくは、「印刷条件の設定項目」を参照してください。

■ 参照

- P.20 「印刷条件を設定する」
- P.26 「プログラムを呼び出す」
- P.36 「印刷条件の設定項目」

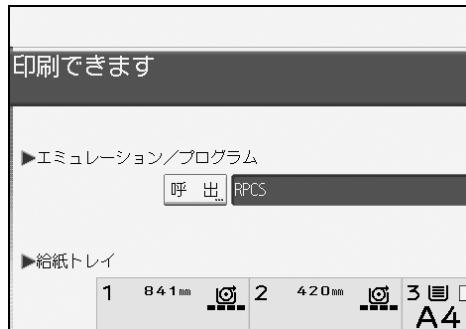
プログラムを呼び出す

あらかじめプログラム登録しておいた印刷条件で印刷するために、プログラムを呼び出します。

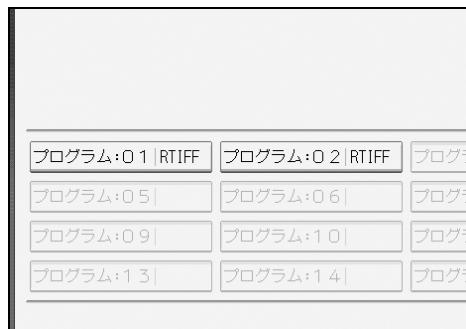
1 [プリンター] キーを押します。

2 [呼出] を押します。

3



3 呼び出すプログラムを押して、[OK] を押します。



プログラムが呼び出され、プリンターの画面に戻ります。選択したプログラム番号が画面に表示されていることを確認してください。

プログラムを削除する

登録されているプログラムを削除することができます。

1 [プリンター] キーを押します。

2 [登録] を押します。



3

3 [削除] を押します。

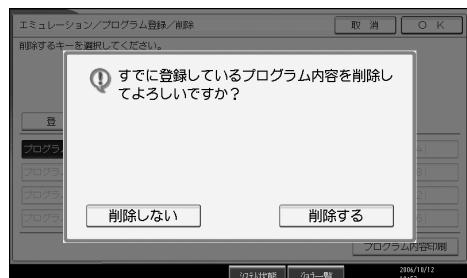


4 削除するプログラムを押して、[OK] を押します。



5 [削除する] を押します。

削除を中止したいときは、[削除しない] を押します。



3

選択したプログラムが削除され、プリンターの画面に戻ります。

プログラム内容を印刷する

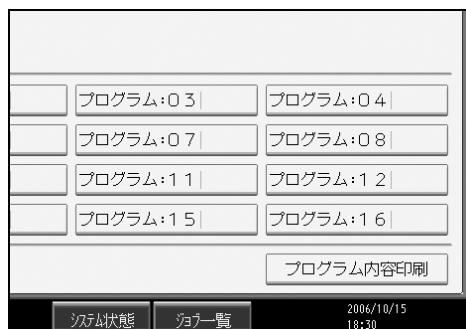
プリンターに登録したプログラムの一覧を印刷できます。
プログラムが1つも登録されていない場合は、印刷されません。

1 [プリンター] キーを押します。

2 [登録] を押します。

**3**

3 [プログラム内容印刷] を押します。



登録されているプログラム内容が印刷されます。

4 [取消] を押します。

プリンターの画面に戻ります。

給紙トレイを選択する

操作部で給紙トレイを選択することができます。

印刷条件リストとプログラム内容を印刷する場合、操作部で選択する給紙トレイが使用されます。

TIFF データを印刷する場合、操作部で選択する給紙トレイは次の 2 つの条件が成立しているとき有効です。

- ・印刷条件の「給紙トレイ」と「用紙サイズ」と「自動用紙選択」に初期値が設定されている
- ・印刷オプションの tray、paper、autopaper を指定していない

エミュレーションが RTIFF になっていることを確認してから、操作してください。

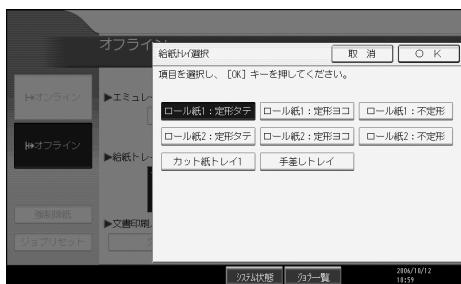
3

1 [プリンター] キーを押します。

2 [給紙トレイ選択] 押します。



3 選択する給紙トレイを押して、[OK] を押します。



給紙トレイが選択され、プリンターの画面に戻ります。

印刷部数を設定する

操作部で印刷部数を設定することができます。

印刷部数は、1から999部の範囲で設定できます。

印刷部数を設定しなかった場合、初期値は1部になります。

一度プリンターで設定した印刷部数は、それ以降に受信したデータの印刷に対して、印刷部数を再設定するまで有効です。ただし、次の場合は初期値（1部）に戻ります。

- ・エミュレーションが切り替えられた場合
- ・プリンターの電源が切られた場合

印刷オプションの copies で印刷部数を指定した場合、プリンター本体で設定した「印刷部数」は無効になります。

エミュレーションが RTIFF になっていることを確認してから、操作してください。

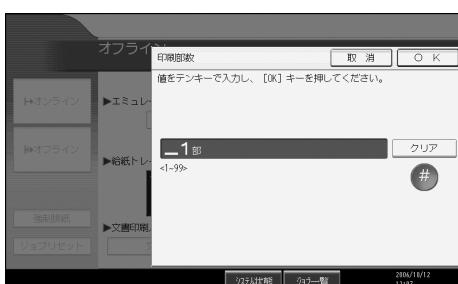
3

1 [プリンター] キーを押します。

2 [印刷部数] を押します。



3 テンキーで印刷部数を入力して、[OK] を押します。



プリンターの画面に戻ります。

4 印刷します。

指定した部数が印刷されます。

4. 印刷条件

印刷条件について説明しています。

印刷条件設定項目一覧表

印刷条件の設定項目と設定値の一覧を示します。

「*」マークが付いた設定値は、各項目の初期値になります。

4

項目	設定値					
	1	2	3	4	5	6
1. 紙トレイ	*システムデフォルト	ロール紙1:定形タテ	ロール紙1:定形ヨコ	ロール紙1:不定形	ロール紙2:定形タテ	ロール紙2:定形ヨコ
	ロール紙2:不定形	-	-	-	-	-
	-	カット紙トレイ1	手差し	-	-	-
2. 用紙サイズ	*指定しない	A0R	A1	A1R	A2	A2R
	A3	A3R	A4	B1R	B2	B2R
	B3	B3R	B4	S1	S2	S3
	S4	S5	S6	S7	S8	S9
	-	-	-	-	-	-
4. リミットレス給紙	*自動	する	しない			
5. 印刷方向	*ポートレイト	ランドスケープ				
7. エンジン解像度	*400dpi	600dpi	200dpi	300dpi		
8. 変倍率	100%	(範囲 25~1000%、1% 単位で設定可能)				
9. 左余白	0mm	(範囲 0~100mm、1mm 単位で設定可能)				
A. 右余白	0mm	(範囲 0~100mm、1mm 単位で設定可能)				
B. 上余白	0mm	(範囲 0~100mm、1mm 単位で設定可能)				

項目	設定値					
	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24
	C. 下余白	0mm	(範囲 0~100mm、1mm 単位で設定可能)			
D. Xオフセット	0mm	(範囲-100~100mm、1mm 単位で設定可能)				
E. Yオフセット	0mm	(範囲-100~100mm、1mm 単位で設定可能)				
H. マルチカラム	1	(範囲 1~10、1 単位で設定可能)				
I. マルチロー	1	(範囲 1~10、1 単位で設定可能)				
J. 横変倍率	100%	(範囲 25~1000%、1% 単位で設定可能)				
K. 縦変倍率	100%	(範囲 25~1000%、1% 単位で設定可能)				
L. 白黒反転	*しない	する				
M. 明るさ	100%	(範囲 1~1000%、1% 単位で設定可能)				
N. コントラスト	100%	(範囲 1~1000%、1% 単位で設定可能)				
O. 中央配置	*しない	する				
P. 自動変倍	*しない	する				
Q. エラー印刷	*しない	する				
S. 印刷領域	*標準	最大				
T. 実サイズ 変倍	*しない	する				
U. 自動用紙 選択	*しない	する				
V. 用紙超過率	0%	(範囲-50~50%、1% 単位で設定可能)				
W. データ バッファ	*メモリー	ハード ディスク				
X. 不定形 オートカット	*しない	する				
Y. カット紙 トレイ優先	しない	*する				
Z. 画像の向き	*0 度回転 画像	右 90 度回転 画像	180 度回転 画像	左 90 度回転 画像		
a. 速度優先	しない	*する				

項目	設定値					
	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24
b. 自動縮小	*縮小しない	A3 に縮小	A4 に縮小	A5 に縮小	A6 に縮小	B4 に縮小
	B5 に縮小	B6 に縮小	ハガキに縮小	LT に縮小	HL に縮小	DL に縮小
	LG に縮小	AC に縮小	A0 に縮小	A1 に縮小	A2 に縮小	B1 に縮小
	B2 に縮小	B3 に縮小				
c. 自動縮小 調整	0mm	(範囲-100~100mm、1mm 単位で設定可能)				

印刷条件の設定項目

印刷条件のそれぞれの設定項目について説明します。

給紙トレイ

使用する給紙トレイを選択します。

4

◆ 設定値

- ・システムデフォルト（工場出荷時の設定）
- ・ロール紙 1：定形 タテ
- ・ロール紙 1：定形 ヨコ
- ・ロール紙 1：不定形
- ・ロール紙 2：定形 タテ
- ・ロール紙 2：定形 ヨコ
- ・ロール紙 2：不定形
- ・カット紙トレイ 1
- ・手差し

◆ 動作

- ・プログラムやエミュレーションで給紙トレイが「システムデフォルト」に設定されている場合、システム初期設定の「給紙トレイ優先設定：プリンター」で設定した給紙トレイが選択されます。

◆ 条件

- ・印刷条件の「用紙サイズ」を「指定しない」以外に設定する場合、この項目の設定が無効になります。
- ・印刷条件の「自動用紙選択」を「する」に設定する場合、この項目の設定が無効になります。
- ・ここで設定した給紙トレイに、プリンターで給紙できない用紙をセットする場合、この項目の設定が無効になり、操作部に表示されているトレイから給紙されます。
- ・印刷オプションで tray、paper、autopaper のどれかを指定した場合、この項目の設定が無効になります。
- ・PJL、または関連の印刷オプションで回転ソート、パンチを指定している場合、選択されているトレイとは異なるトレイから給紙することができます。

補足

- ・リミットレス給紙の設定を有効にしていると、設定したトレイと同サイズ、同方向のトレイから給紙されることがあります。給紙トレイを特定したいときは、印刷条件の「リミットレス給紙」を「しない」に設定するか、印刷オプションで noautotray を指定してください。

用紙サイズ

印刷する用紙のサイズと向きを設定します。

◆ 設定値

- ・指定しない（工場出荷時の設定）
- ・A0R
- ・A1
- ・A1R
- ・A2
- ・A2R
- ・A3
- ・A3R
- ・A4
- ・B1R
- ・B2
- ・B2R
- ・B3
- ・B3R
- ・B4
- ・S1
- ・S2
- ・S3
- ・S4
- ・S5
- ・S6
- ・S7
- ・S8
- ・S9

4

◆ 動作

- ・ここで設定した用紙サイズと向きの給紙トレイがセットされていない場合、操作部に表示されているトレイから給紙されます。
- ・「指定しない」を設定すると、印刷条件の「給紙トレイ」で設定したトレイから給紙されます。

◆ 条件

- ・「指定しない」以外を設定すると、印刷条件の「給紙トレイ」の設定が無効になります。
- ・印刷条件の「カット紙トレイ優先」が「する」に設定されていて、サイズおよび紙種が同一である用紙がカット紙トレイとロール紙トレイの両方にセットされていた場合、カット紙トレイを優先します。
- ・印刷条件の「自動用紙選択」を「する」に設定する場合、この項目の設定が無効になります。
- ・印刷オプションで tray、paper、autopaper のどれかを指定した場合、この項目の設定が無効になります。
- ・手差しトレイ、自動用紙選択の対象外に設定されているトレイ、または「普通紙」または「再生紙」以外の紙種が設定されている給紙トレイは選択の対象なりません。

 **補足**

- リミットレス給紙の設定を有効にしていると、指定したトレイと同サイズ、同紙種、同方向のトレイから給紙することができます。また、機種の違いにより、指定したトレイと同サイズ、同紙種の異方向のトレイであっても給紙することができます。そのときは印刷条件の「リミットレス給紙」を「自動」、または「しない」に設定するか、印刷オプションで noautotray を指定してください。

リミットレス給紙

印刷中に給紙トレイの用紙がなくなった場合、他の給紙トレイに自動的に切り替えて印刷するかどうかを設定します。

4**◆ 設定値**

- ・自動（工場出荷時の設定）
- ・する
- ・しない

◆ 動作

- ・「自動」または「する」に設定すると、プリンターが自動的にトレイを切り替えます。
- ・「しない」に設定すると、トレイの切り替えはしません。この場合は用紙を補給してください。

◆ 条件

- ・切り替え対象の給紙トレイは、用紙のなくなった給紙トレイと同サイズ、同紙種、同方向の用紙がセットされている場合に有効です。
- ・印刷オプションで autotray または noautotray を指定した場合、この項目の設定が無効になります。
- ・「自動」に設定した場合でも、「給紙トレイ」の設定または印刷オプションの tray の指定が有効なときは、給紙トレイの自動切り替えはしません。

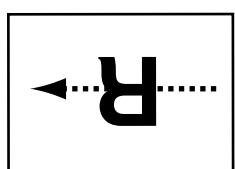
印刷方向

画像が印刷される向きを設定します。

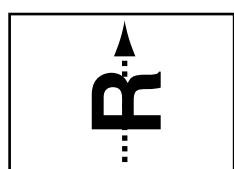
◆ 設定値

- ・ポートレイト（工場出荷時の設定）
- ・ランドスケープ

 の場合

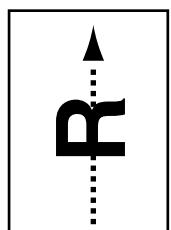


ポートレイト

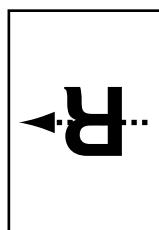


ランドスケープ

 の場合



ポートレイト



ランドスケープ

← は排紙方向
→ は主走査方向

4

◆ 条件

- ・印刷条件の「自動用紙選択」を「する」に設定する場合で、印刷オプションの tray、paper のどちらも指定しない場合、この項目の設定が無効になります。
- ・印刷オプションで portrait、landscape、autopaper のどれかを指定した場合、この項目の設定が無効になります。
- ・PJL、または関連の印刷オプションで、パンチを指定している場合、用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されることがあります。
- ・PJL、または関連の印刷オプションで、逆方向印刷を指定している場合、用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されることがあります。

 補足

- ・主走査方向とは、プリンターに送信した画像データの送信順を指します。

エンジン解像度

プリンター内部で印刷に使用する解像度を設定します。

◆ 設定値

- ・400dpi（工場出荷時の設定）
- ・600dpi
- ・200dpi
- ・300dpi

◆ 条件

- ・印刷オプションで 200dpi、300dpi、400dpi、または 600dpi を指定した場合、この項目の設定が無効になります。

4

変倍率

画像を拡大または縮小して印刷するときの変倍率を設定します。25~1000%（1% 単位）で設定することができます。拡大または縮小しても、画像の縦横比は保持されます。

◆ 条件

- ・印刷オプションで mag を指定した場合、この項目の設定が無効になります。

↓ 補足

- ・印刷条件で「横変倍率」、「縦変倍率」、「自動変倍」、「実サイズ変倍」、「自動縮小」が設定されている場合、または印刷オプションの xmag、ymag、fit、nofit、tifffit、notifffit、autoreduce のどれかが指定されている場合、その変倍率とこの項目で設定した変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。
- ・印刷オプションの autoreduce、または印刷条件の「自動縮小」を「縮小しない」以外に設定した場合と、印刷条件の「自動変倍」の「する」、または印刷オプションの fit を同時に指定した場合、autoreduce の指定、または印刷条件「自動縮小」の設定が優先されます。

左余白

左側の余白、すなわち印刷領域の左端から印刷開始位置までの寸法（mm）を設定します。0~100mm（1mm 単位）で設定することができます。

ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じることがあります。



補足

- 印刷オプションで `leftspace` を指定した場合、余白は、この項目の設定値と `leftspace` の指定値を加えた値になります。

右余白

右側の余白、すなわち印刷領域の右端から印刷終了位置までの寸法（mm）を設定します。0~100mm（1mm 単位）で設定することができます。

ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じことがあります。



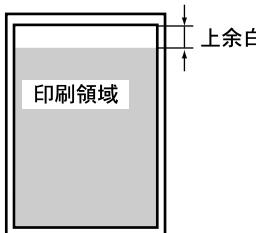
補足

- 印刷オプションで `rightspace` を指定した場合、余白は、この項目の設定値と `rightspace` の指定値を加えた値になります。

上余白

上側の余白、すなわち印刷領域の上端から印刷開始位置までの寸法（mm）を設定します。0~100mm（1mm 単位）で設定することができます。

ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じることがあります。



4

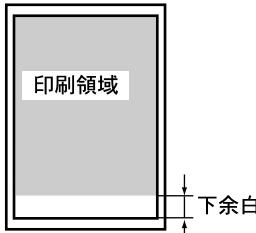
補足

- 印刷オプションで topspace を指定した場合、余白は、この項目の設定値と topspace の指定値を加えた値になります。

下余白

下側の余白、すなわち印刷領域の下端から印刷終了位置までの寸法（mm）を設定します。0~100mm（1mm 単位）で設定することができます。

ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じことがあります。

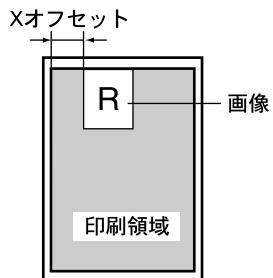


補足

- 印刷オプションで bottomspace を指定した場合、余白は、この項目の設定値と bottomspace の指定値を加えた値になります。

Xオフセット

印刷位置の横方向の移動量を設定します。-100~100mm（1mm 単位）で設定することができます。マイナスの値を設定すると左に、プラスの値を設定すると右に移動します。



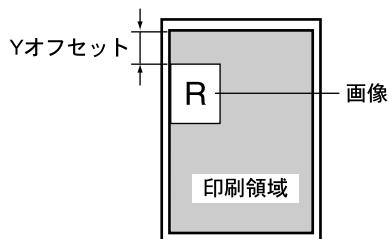
補足

4

- 印刷オプションで `xoffset` を指定した場合、移動量は、この項目の設定値と `xoffset` の指定値を加えた値になります。
- 印刷条件で「X マージン」、「中央配置」が設定されている場合、または印刷オプションで `xmargin`、`center`、`nocenter` のどれかが指定されている場合、その設定値とこの項目で設定した設定値に従って横方向に移動します。

Yオフセット

印刷位置の縦方向の移動量を設定します。-100~100mm（1mm 単位）で設定することができます。マイナスの値を設定すると上に、プラスの値を設定すると下に移動します。



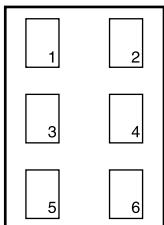
補足

- 印刷オプションで `yoffset` を指定した場合、移動量は、この項目の設定値と `yoffset` の指定値を加えた値になります。
- 印刷条件で「Y マージン」、「中央配置」が設定されている場合、または印刷オプションで `ymargin`、`center`、`nocenter` のどれかが指定されている場合、その設定値とこの項目で設定した設定値に従って縦方向に移動します。

マルチカラム

複数の画像を1枚の用紙に印刷されるように設定します。横方向に並べる画像数（列数）を1~10の間で設定します。

マルチカラム
(「2」を指定した場合)



マルチロー
(「3」を指定した場合)

4

◆ 条件

- ・印刷条件の「自動用紙選択」を「する」に設定する場合で、印刷オプションの tray、paper のどちらも指定していない場合、この項目の設定が無効になります。
- ・印刷オプションで multocols または autopaper を指定した場合、この項目の設定が無効になります。

補足

- ・縦方向に並べる画像数（行数）は、「マルチロー」または印刷オプションの multirows で設定します。
- ・各画像のサイズは、指定した画像数と印刷領域の設定によって変わります。
- ・複数画像の印刷を設定した場合、設定した画像数に満たなくても以下のときは印刷されます。
 - ・エミュレーション切り替えコマンドなどの ESC シーケンスコマンドを受信したとき
 - ・プリンターがネットワークに接続されている場合に、「EOF」を受信したとき
 - ・プリンターがパラレル接続されている場合に、オフライン状態で【強制排紙】を押したとき
- ・プリンター初期設定の「システム設定（EM）」にある「自動排紙時間」で設定した時間が経過したとき

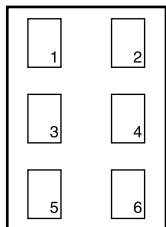
参照

- ・『初期設定編』「自動排紙時間」

マルチロー

複数の画像を1枚の用紙に印刷するように設定します。縦方向に並べる画像数(行数)を1~10の間で設定します。

マルチカラム
(「2」を指定した場合)



マルチロー
(「3」を指定した場合)

◆ 条件

- 印刷条件の「自動用紙選択」を「する」に設定する場合で、印刷オプションの tray、paper のどちらも指定していない場合、この項目の設定が無効になります。
- 印刷オプションで multirows または autopaper を指定した場合、この項目の設定が無効になります。

補足

- 横方向に並べる画像数(列数)は、「マルチカラム」または印刷オプションの multicols で設定します。
- 各画像のサイズは、指定した画像数と印刷領域の設定によって変わります。
- 複数画像の印刷を設定した場合、設定した画像数に満たなくても以下のときは印刷されます。
 - エミュレーション切り替えコマンドなどの ESC シーケンスコマンドを受信したとき
 - プリンターがネットワークに接続されている場合に、「EOF」を受信したとき
 - プリンターがパラレル接続されている場合に、オフライン状態で【強制排紙】を押したとき
 - プリンター初期設定の「システム設定(EM)」にある「自動排紙時間」で設定した時間が経過したとき

参照

- 『初期設定編』「自動排紙時間」

横変倍率

横方向の変倍率を設定します。25~1000%（1% 単位）で設定することができます。画像が横方向に拡大、縮小して印刷されます。

◆ 条件

- ・印刷オプションで xmag を指定した場合、この項目の設定が無効になります。

補足

- ・印刷条件で「変倍率」、「自動変倍」、「実サイズ変倍」、「自動縮小」が設定されている場合、または印刷オプションの mag、fit、nofit、tiffit、notifft、autoreduce のどれかが指定されている場合、その変倍率とこの項目で設定した変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。
- ・印刷オプションの autoreduce、または印刷条件の「自動縮小」を「縮小しない」以外に設定した場合と、印刷条件の「自動変倍」の「する」、または印刷オプションの fit を同時に指定した場合、autoreduce の指定、または印刷条件「自動縮小」の設定が優先されます。

4

縦変倍率

縦方向の変倍率を設定します。25~1000%（1% 単位）で設定することができます。画像が縦方向に拡大、縮小して印刷されます。

◆ 条件

- ・印刷オプションで ymag を指定した場合、この項目の設定が無効になります。

補足

- ・印刷条件で「変倍率」、「自動変倍」、「実サイズ変倍」、「自動縮小」が設定されている場合、または印刷オプションの mag、fit、nofit、tiffit、notifft、autoreduce のどれかが指定されている場合、その変倍率とこの項目で設定した変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。
- ・印刷オプションの autoreduce、または印刷条件の「自動縮小」を「縮小しない」以外に設定した場合と、印刷条件の「自動変倍」の「する」、または印刷オプションの fit を同時に指定した場合、autoreduce の指定、または印刷条件「自動縮小」の設定が優先されます。

白黒反転

画像の白黒を反転して印刷するかどうかを設定します。

◆ 設定値

- ・しない（工場出荷時の設定）
- ・する

◆ 条件

- ・印刷オプションで positive または negative を指定した場合、この項目の設定が無効になります。

明るさ

多値画像（グレースケール）の明るさを設定します。1~1000%（1% 単位）で設定することができます。「100%」よりも大きい値を設定すると画像が全体的に明るく（白っぽく）、小さい値を設定すると全体的に暗く（黒っぽく）印刷されます。

◆ 条件

- ・2 値画像（黒と白のみ）の場合、この項目の設定は無効になります。
- ・印刷オプションで brightness を指定した場合、この項目の設定が無効になります。

コントラスト

多値画像（グレースケール）のコントラストを設定します。1~1000%（1% 単位）で設定することができます。「100%」よりも大きい値を設定すると画像の明暗の差が大きく、小さい値を設定すると明暗の差が小さく印刷されます。

◆ 条件

- ・2 値画像（黒と白のみ）の場合、この項目の設定は無効になります。
- ・印刷オプションで contrast を指定した場合、この項目の設定が無効になります。

中央配置

印刷領域の中央に画像を印刷するかどうかを設定します。

◆ 設定値

- ・しない（工場出荷時の設定）
- ・する

◆ 動作

- ・「しない」に設定すると、印刷領域の左上端が印刷開始位置（画像の左上端）になります。
- ・「する」に設定している場合でも、印刷条件の「X オフセット」、「Y オフセット」、「X マージン」、「Y マージン」を設定するか、印刷オプションの xoffset、yoffset、xmargin、ymargin を指定すると、その設定値の分だけ中央から移動して印刷されます。

◆ 条件

- ・印刷オプションで center または nocenter を指定した場合、この項目の設定が無効になります。

↓ 補足

- ・印刷領域は、印刷条件の「印刷領域」の設定値、または印刷オプションの maxarea、および normaiarea の指定値で決まる印刷領域から、印刷条件の「各（左、右、上、下）余白」、「マルチカラム」、「マルチロー」の設定値、および印刷オプションの leftspace、raightspace、topspace、bottomspace、multicols、multirows の設定値に従って印刷される領域です。

自動変倍

受信した画像の大きさが、印刷領域に収まるように自動的に拡大、縮小して印刷するかどうかを設定します。このとき、画像の縦横比は保持されます。

◆ 設定値

- ・しない (工場出荷時の設定)
- ・する

◆ 動作

- ・「しない」に設定すると、画像が等倍で印刷されます。
- ・「する」に設定している場合でも、印刷条件の「変倍率」、「横変倍率」、「縦変倍率」、「実サイズ変倍」を設定するか、または印刷オプションの mag、xmag、ymag、tiffit、notiffit のどれかを指定すると、その変倍率とこの項目で設定した印刷領域に合わせた変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。

4

◆ 条件

- ・印刷オプションで fit または nofit を指定した場合、この項目の設定が無効になります。
- ・印刷条件の「自動縮小」で縮小サイズを設定した場合、この項目の設定が無効になります。
- ・「自動変倍」に「する」を設定している場合に印刷オプションの autoreduce を指定すると、autoreduce の指定が優先されます。

↓ 補足

- ・印刷領域は、印刷条件の「印刷領域」の設定値、または印刷オプションの maxarea、および normarea の指定値で決まる印刷領域から、印刷条件の「各（左、右、上、下）余白」、「マルチカラム」、「マルチロー」の設定値、および印刷オプションの leftspace、raightspace、topspace、bottomspace、multicols、multirows の設定値に従って印刷される領域です。

エラー印刷

エラーが発生したときに、エラーメッセージを印刷するかどうかを設定します。

◆ 設定値

- ・しない（工場出荷時の設定）
- ・する

◆ 動作

- ・「する」に設定すると、RTIFF エミュレーションに切り替えた後に発生したエラー、または前回のエラーメッセージの印刷後に発生したエラーについてエラーメッセージが印刷されます。

◆ 条件

- ・印刷オプションで errorprint または noerrorprint を指定した場合、この項目の設定が無効になります。

補足

- ・「する」に設定していても、RTIFF エミュレーションがリセットされた場合は、エラーメッセージは印刷されません。
- ・「しない」に設定していても、操作部やサマリー印刷指定コマンドで印刷条件リストを印刷すると、エラー欄にエラーメッセージが印刷されます。
- ・エラーメッセージの詳細について詳しくは、「エラーメッセージ」を参照してください。

参照

- ・P.113 「エラーメッセージ」

印刷領域

用紙に余白をとって印刷するか、用紙いっぱいに印刷するかを設定します。ただし、印刷領域を設定しても、実際の用紙上の印刷位置が想定どおりにならないことがあります。

◆ 設定値

- ・標準（工場出荷時の設定）
- ・最大

◆ 動作

- ・「標準」に設定すると、用紙の上下左右に約 5mm ずつ余白が設定され、その内側が印刷領域になります。
- ・「最大」に設定すると、ほぼ用紙サイズいっぱいが印刷領域になります。

◆ 条件

- ・カスタムサイズ（不定形サイズ）の用紙の場合、この項目の設定は無効になり、常に「最大」で印刷されます。
- ・印刷オプションで maxarea または normalarea を指定した場合、この項目の設定が無効になります。

実サイズ変倍

受信した画像を自動的に拡大、縮小して、実物大で印刷するかどうかを設定します。

◆ 設定値

- ・しない（工場出荷時の設定）
- ・する

◆ 動作

- ・「しない」に設定すると、受信した画像が実物大の大きさで印刷されません。等倍の大きさで印刷されます。
- ・「する」に設定している場合でも、印刷条件の「変倍率」、「横変倍率」、「縦変倍率」、「自動変倍」を設定するか、印刷オプションの mag、xmag、ymag、fit、nofit、autoreduce を指定すると、その変倍率とこの項目で設定した画像を実物大にする変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。
- ・「する」に設定している場合でも、解像度情報のタグがない TIFF データやページ、またはヘッダーレコードがない CALS データを印刷するとこの項目の設定は無効になります。
- ・TIFF 形式と CALS 形式以外のイメージデータの場合は、設定は無効となります。
- ・拡大、縮小の倍率は、TIFF データのタグや CALS データのヘッダーレコードに記述されている横および縦方向の解像度情報と印刷時のエンジン解像度を基に計算した値となります。たとえば、横方向の解像度が 200dpi、縦方向の解像度が 400dpi のタグを持つ TIFF データや CALS データを 600dpi のエンジン解像度で印刷した場合、横方向は 3.0 倍 (600/200)、縦方向は 1.5 倍 (600/400) で印刷されます。
- ・マルチページの TIFF データの場合、各ページの解像度情報を基に拡大、縮小されます。

◆ 条件

- ・「する」に設定している場合でも、解像度情報のタグがない TIFF データやページを印刷するとこの項目の設定は無効になります。
- ・印刷オプションで tifffit、または notifffit を指定した場合、この項目の設定が無効になります。

自動用紙選択

画像の大きさに適した用紙サイズの給紙トレイが自動的に選択され、画像の向きも適切な方向で印刷されるように設定することができます。

◆ 設定値

- ・しない (工場出荷時の設定)
- ・する

◆ 動作

- ・「しない」に設定すると、自動的に選択されません。
- ・「する」に設定すると、自動的に選択されます。
- ・「する」を設定すると、印刷条件の「給紙トレイ」、「用紙サイズ」、「印刷方向」、「マルチカラム」、「マルチロー」の設定と、印刷オプションの `portrait`、`landscape`、`multicols`、`multirows` の指定が無効になります。
- ・選択の対象にならない給紙トレイがあります。すべての給紙トレイが選択対象外の場合は、操作部に表示されている給紙トレイから給紙されます。
- ・印刷条件の「変倍率」、「横変倍率」、「縦変倍率」、「実サイズ変倍」、「自動縮小」、「左余白」、「右余白」、「上余白」、「下余白」、「X オフセット」、「Y オフセット」のどれかを設定しているか、印刷オプションの `mag`、`xmag`、`ymag`、`tifffit`、`notifffit`、`autoreduce`、`leftspace`、`rightspace`、`topspace`、`bottomspace`、`xoffset`、`yoffset` のどれかを指定しているときは、これらの設定や指定が反映された画像の大きさを基準に給紙トレイが選択されます。
- ・適切な用紙サイズから画像がはみ出したり余白ができる許容範囲を、印刷条件の「用紙超過率」で設定することができます。
- ・選択の対象となっている給紙トレイの最大の用紙サイズよりも画像が大きい場合、給紙トレイの中で最大の用紙サイズの給紙トレイが選択されます。
- ・印刷条件の「カット紙トレイ優先」が「する」に設定されていて、サイズおよび紙種が同一である用紙がカット紙トレイとロール紙トレイの両方にセットされていた場合、カット紙トレイを優先します。
- ・スタンプを指定している場合は、用紙内の画像の向きが通常とは天地が逆になって（画像が 180 度回転して）印刷されることがあります。
- ・印刷条件の「不定形オートカット」を「する」に設定した場合や、印刷オプションの `autopaper` に指定値 `freecut` をつけて指定した場合、不定形トレイを優先することができます。

◆ 条件

- ・印刷オプションで `tray`、`paper`、`autopaper` のどれかを指定した場合、この項目の設定が無効になります。
- ・PJL、または関連の印刷オプションで、スタンプを指定している場合、用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されることがあります。
- ・PJL、または関連の印刷オプションで、逆方向印刷を指定している場合、用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されることがあります。

用紙超過率

画像の大きさに適した用紙サイズの給紙トレイを自動的に選択するとき、適切な用紙サイズから画像がはみ出したり余白ができる許容範囲を設定します。-50~50%（1% 単位）で設定することができます。

◆ 動作

- ・超過率を「10%」と指定すると、用紙が 10% 分大きいサイズ（110% の大きさ）まで印刷できるものとして給紙トレイが選択されます。「-10%」と指定すると、用紙が 10% 分小さいサイズ（90% の大きさ）しか印刷できないものとして給紙トレイが選択されます。

◆ 条件

4

- ・印刷条件の「自動用紙選択」の設定が「しない」の場合または印刷オプションの tray、paper を指定した場合で、印刷オプションの autopaper を指定しない場合、この項目の設定が無効になります。
- ・印刷オプションの autopaper で超過率を指定した場合、この項目の設定が無効になります。

補足

- ・画像の大きさに適した用紙サイズの給紙トレイを自動的に選択するには、印刷条件の「自動用紙選択」または印刷オプションの autopaper で設定します。

データバッファ

プリンター内部で TIFF データをラスタライズする間、入力データを一時的に記憶しておくためのデータバッファ（デバイス）を設定します。

★ 重要

- ・「ハードディスク」に設定している場合、入力データの処理中にプリンターの電源を切らないでください。入力データの処理中にプリンターの電源を切ると、ハードディスクが破損するおそれがあります。

◆ 設定値

- ・メモリー（工場出荷時の設定）
- ・ハードディスク

◆ 動作

- ・「メモリー」に設定すると、データバッファにメモリーが使用されます。
- ・「ハードディスク」に設定すると、データバッファにハードディスクが使用されます。
- ・「ハードディスク」に設定すると、データの格納順序の制約やデータサイズの制限のためエラーが発生して印刷できない TIFF ファイル、または CALS ファイルが印刷できることがあります。
- ・「ハードディスク」に設定すると、入力データによっては設定しない場合に比べて印刷に時間がかかることがあります。

◆ 条件

- ・印刷オプションで diskbuffer または memorybuffer を指定した場合、この項目の設定が無効になります。

補足

- データバッファの機能は、プリンター本体の受信バッファ、スプール印刷についての機能とは異なります。これらの機能について詳しくは、『初期設定編』「受信バッファ」、または『プリンター機能編』「スプール印刷について」を参照してください。
- データバッファとして使用するハードディスクが装着されている必要があります。
- TIFF データの格納順序の制約やデータサイズの制限については、「印刷できる TIFF ファイル」を参照してください。

参照

- P.103 「印刷できる TIFF ファイル」
- 『初期設定編』「受信バッファ」
- 『プリンター機能編』「スプール印刷について」

4

不定形オートカット

印刷画像のサイズ判別を行い、不定形サイズの印刷画像を最小の大きさで印刷されるように設定することができます。

◆ 設定値

- しない (工場出荷時の設定)
- する

◆ 動作

- 「しない」に設定すると、不定形サイズの印刷画像が最小の大きさで印刷されません。
- 「する」に設定すると、不定形サイズの印刷画像が最小の大きさで印刷されます。

◆ 条件

- 印刷画像が定形サイズの画像か不定形サイズの画像かの判別を行い、不定形サイズの画像であった場合、画像の幅に最適な不定形トレイを選択して、不定形トレイのカット長を画像の縦サイズに合わせて印刷します。
- 印刷画像サイズに合わせて変更した不定形用紙の縦、横の値は、「プリンター初期設定：システム設定 (EM)」の「不定形サイズ設定」には反映されません。
- 印刷画像サイズに合わせて変更した不定形用紙の縦、横の値は、印刷条件リストのシステム構成欄に「不定形サイズ」として表示されます。
- 定形サイズの用紙サイズから ±10mm の範囲で、画像を回転させて収まらない大きさを不定形サイズと判定します。
- 定形の印刷画像サイズを判別する場合、超過率は含まれません。
- 不定形トレイを検索する場合の印刷画像サイズは、超過率を含みます。
- 印刷条件の「自動用紙選択」が「しない」に設定されていて、印刷オプションの autopaper を指定しない場合、この項目の設定が無効になります。
- 印刷オプションで tray、paper、のどれかを指定して、印刷オプションの autopaper を指定しない場合、この項目の設定が無効になります。
- 印刷オプションで autopaper を指定して、freecut、nofreecut のどれかを指定した場合、この項目の設定が無効になります。
- 印刷画像が定形サイズと判定される、または印刷できるトレイがない場合、この項目の設定が無効になります。

- トレイ検索方法は以下のとおりです。
 - 印刷画像サイズの判定を行います。
 - 不定形サイズの場合、幅の小さい不定形トレイから画像が収まるトレイを検索します。
 - 画像の長辺が不定形トレイの幅に収まる場合、そのトレイに印刷します。
 - 画像の短辺が不定形トレイの幅に収まる場合、そのトレイに印刷します。
 - 画像が収まる不定形トレイがない場合、この項目の設定が無効になり、「自動用紙選択」と同じ動作になります。
 - 不定形トレイに印刷した場合、不定形トレイのサイズは不定形サイズ設定の設定値には反映されません。

カット紙トレイ優先

4

カット紙トレイを優先して選択するかどうかを設定します。

◆ 設定値

- する (工場出荷時の設定)
- しない

◆ 動作

- 「する」に設定すると、カット紙トレイが優先的に使用されます。
- 「しない」に設定すると、カット紙トレイが優先的に使用されません。

◆ 条件

- 印刷オプションの cuttray、または nocuttray を指定した場合、この項目の設定が無効になります。

画像の向き

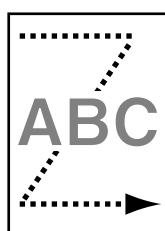
画素方向に対して、画像の向きを変更できます。

◆ 設定値

- ・0 度回転画像（工場出荷時の設定）
- ・右 90 度回転画像
- ・180 度回転画像
- ・左 90 度回転画像

◆ 動作

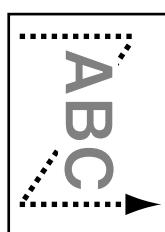
- ・「0 度回転画像」に設定すると画像の向きと、画素方向が同一の画像データとして後処理を行います。



実際の画像
画素の方向

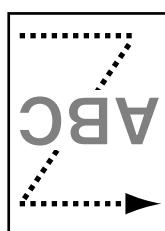
4

- ・「右 90 度回転画像」に設定すると画像の向きが、画素方向に対し 90° 回転している画像データとして後処理を行います。



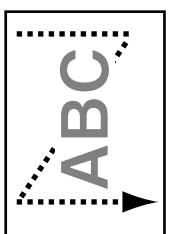
実際の画像
画素の方向

- ・「180 度回転画像」に設定すると画像の向きが、画素方向に対し 180° 回転している画像データとして後処理を行います。



実際の画像
画素の方向

- ・「左 90 度回転画像」に設定すると画像の向きが、画素方向に対し 270° 回転している画像データとして後処理を行います。



実際の画像
画素の方向

▼ 補足

- ・印刷オプションの orientation を指定した場合、「画像の向き」の設定は無効になります。

4

速度優先

印刷速度の設定により、印刷時の印刷速度を選択できます。

設定値には、通常の速度で印刷するか、高速で印刷するかを指定します。

◆ 設定値

- ・しない
- ・する（工場出荷時の設定）

◆ 動作

- ・「しない」に設定すると通常の速度で印刷します。
- ・「する」に設定すると高速で印刷します。
「する」を指定した場合、印刷するイメージデータによっては画質が落ちる場合があります。

▼ 補足

- ・印刷オプションの normalspeed、highspeed のいずれかを指定した場合、「速度優先」の設定は無効となります。

自動縮小

自動縮小処理を選択できます。

◆ 設定値

- ・縮小しない（工場出荷時の設定）
- ・A0 に縮小
- ・A1 に縮小
- ・A2 に縮小
- ・A3 に縮小
- ・A4 に縮小
- ・A5 に縮小
- ・A6 に縮小
- ・B1 に縮小
- ・B2 に縮小
- ・B3 に縮小
- ・B4 に縮小
- ・B5 に縮小
- ・AC に縮小
- ・DL に縮小
- ・LG に縮小
- ・LT に縮小
- ・HL に縮小
- ・ハガキに縮小

◆ 動作

- ・画像サイズが用紙サイズに収まらない場合、用紙に収まるように縮小して印刷します。
- ・画像サイズが用紙サイズに収まる場合、等倍で印刷します。
- ・画像サイズは用紙の大きさを 1.05 倍（固定）した大きさで判断します。
- ・「縮小しない」に設定すると自動縮小しません。
- ・画像サイズは、印刷条件の「実サイズ変倍」、「変倍率」、「横変倍率」、「縦変倍率」の設定値、または印刷オプションの `tifffit`、`mag`、`xmag`、`ymag` の指定値にしたがって拡大・縮小された画像に対して自動縮小するかどうか判断します。
- ・この印刷条件を設定すると、印刷条件の「自動変倍」の「する」、または印刷オプションの `fit` の指定が無効になります。



■ 縮小されない大きさ
[用紙サイズ × 1.05倍(固定)]

↓ 補足

- ・印刷オプションの `autoreduce` を指定した場合、「自動縮小」の設定は無効となります。

自動縮小調整

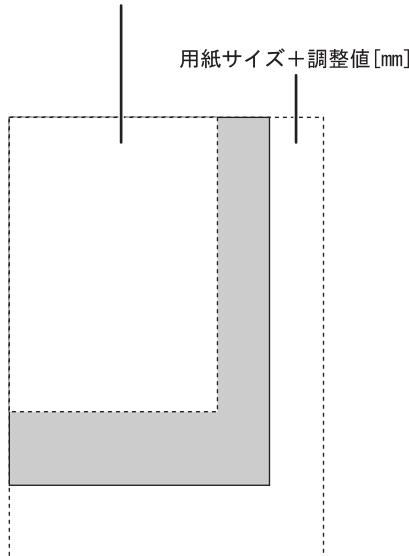
自動縮小の設定により、用紙サイズを設定した場合の用紙の大きさを設定できます。

-100~100mm (1mm 単位)

◆ 動作

- ・印刷条件の「自動縮小」で設定した用紙サイズの大きさを調整して印刷します。
- ・設定値により調整する用紙サイズの大きさは、縮小の判断には影響しません。
- ・設定値と用紙サイズが画像サイズより大きくなる場合、縮小ではなく拡大されることがあります。
- ・印刷条件の「自動縮小」項目で設定した「用紙」の短辺より設定値が大きい場合、この項目の設定は無効となります。

用紙サイズ+調整値 [mm]



用紙サイズ

↓ 補足

- ・印刷オプションの autoreduce に用紙調整値を指定した場合、「自動縮小調整」の設定は無効となります。

5. 印刷オプション

印刷オプションについて説明しています。

印刷オプションとは

印刷オプションとは、UNIX ワークステーションやパソコンからネットワークプリンターに印刷するときに、印刷のコマンドとともにに入力する文字列のことです。

印刷オプションにより、印刷条件を指定することができます。印刷オプションによる印刷条件は、プリンター本体で設定した印刷条件よりも優先されます。ただし、プリンター本体で設定した印刷条件の一部を一時的に変更して印刷するためのものであり、その印刷のコマンドが終了した時点で無効になります。

補足

- 印刷のコマンドで印刷オプションを指定できるのは、ネットワークプロトコルが TCP/IP の場合だけです。ただし、パラレル接続のプリンターに印刷する場合でも、入力データに印刷オプション指定コマンドを含めれば、印刷オプションを指定することができます。印刷オプション指定コマンドについて詳しくは、「印刷オプション指定コマンド」を参照してください。
- 印刷オプションによっては、指定したオプションの値とプリンター本体で設定した印刷条件の値が組み合わされるものがあります。
- 一度プリンターで設定した印刷条件は、それ以降に受信したデータの印刷に対して、印刷条件を再設定するまで有効です。ただし、次の場合はリセットされます。
 - エミュレーションが切り替えられた場合
 - プリンターの電源が切られた場合

参考

- P.111 「印刷オプション指定コマンド」

印刷オプションの指定方法

印刷オプションの指定方法は、印刷に使用するコマンドにより異なります。たとえば UNIX ワークステーションからの印刷に rsh コマンドを使用する場合、印刷コマンドの後に半角スペースを入力し、続けて印刷オプションを入力します。

RTIFF エミュレーションに切り替え、給紙トレイ 1 から給紙し、印刷部数を 3 部、印刷領域の中央に画像を印刷するには、以下のように指定します。

```
% rsh hostname print filetype=RTF,tray=1,copies=3,center < tiff-filename
```



- 複数の印刷オプションを指定するときは、それぞれを「,」で区切ります。
- 印刷オプションには、指定値が必要なものとそうでないものがあります。指定値は、印刷オプション名の後に「=」を入力し、続けて指定値を入力します。
- 「=」を含まない印刷オプションを単独で指定するときは、印刷オプションの先頭に「,」を追加します。

5

補足

- 印刷に使用できるコマンドや、コマンド別の印刷オプションの指定方法について詳しくは、『ネットワークガイド』「Windows からのファイル直接印刷」を参照してください。
- OS によっては、「=」が使用できないことがあります。このときは、代わりに「_」（アンダースコア）を使用してください。
- 印刷オプションとして指定できる文字数には、OS やネットワークインターフェース、プリンターの機能により制限があります。
- 範囲外の指定値を使用したり、誤った印刷オプションを指定した場合、正常に印刷できないことがあります。

参照

- 『ネットワークガイド』「Windows からのファイル直接印刷」

印刷オプション一覧表

印刷オプション名	指定値	機能概要
filetype (または fil)	RTF	印刷に使用するエミュレーションに RITFF、またはプログラムを指定する。
filetype (または fil)	P1 ~ P16	印刷に使用するエミュレーションまたはプログラムを指定する。
tray	1、2、3、4、5、6、C、T	給紙トレイを指定する。
paper	用紙	指定した条件に合う用紙がセットされている給紙トレイを指定する。
paper	用紙 / 紙種 1/ 紙種 2/.../ 紙種 n	指定した条件に合う用紙がセットされている給紙トレイを指定する。
bin	0、1、2	排紙先を指定する。
autotray	指定値なし	用紙切れの際にほかの給紙トレイに切り替える。
noautotray	指定値なし	用紙切れの際にほかの給紙トレイに切り替える。
portrait	指定値なし	用紙内の画像の向きを指定する。
landscape	指定値なし	用紙内の画像の向きを指定する。
200dpi	指定値なし	エンジン解像度を選択する。
300dpi	指定値なし	エンジン解像度を選択する。
400dpi	指定値なし	エンジン解像度を選択する。
600dpi	指定値なし	エンジン解像度を選択する。
copies	1 ~ 999	印刷部数を指定する。
mag	0.002 ~ 500	画像を縦横同率で拡大、縮小する。
mag	用紙 1. 用紙 2 (用紙 : a0、a1、a2、a3、a4、b1、b2、b3、b4)	画像を縦横同率で拡大、縮小する。
leftspace	-30 ~ 30cm	用紙の左側の余白を指定する。
rightspace	-30 ~ 30cm	用紙の右側の余白を指定する。
topspace	-30 ~ 30cm	用紙の上側の余白を指定する。
bottomspace	-30 ~ 30cm	用紙の下側の余白を指定する。
xoffset	-100 ~ 100cm	画像を横方向に移動する。
yoffset	-100 ~ 100cm	画像を縦方向に移動する。
multicols	1 ~ 10	複数の画像を 1 枚の用紙に印刷するときの列数を指定する。

5. 印刷オプション

印刷オプション名	指定値	機能概要
multirows	1 ~ 10	複数の画像を1枚の用紙に印刷するときの行数を指定する。
xmag	0.002 ~ 500	画像を横方向に拡大、縮小する。
ymag	0.002 ~ 500	画像を縦方向に拡大、縮小する。
negative	指定値なし	画像を白黒反転する。
positive	指定値なし	画像を白黒反転する。
brightness	0.01 ~ 999	多値画像（グレースケール）の明るさを変更する。
contrast	0.01 ~ 999	多値画像（グレースケール）のコントラストを変更する。
center	指定値なし	画像を印刷領域の中央に配置する。
nocenter	指定値なし	画像を印刷領域の中央に配置する。
fit	指定値なし	画像を印刷領域に合わせて拡大、縮小する。
nofit	指定値なし	画像を印刷領域に合わせて拡大、縮小する。
tifffit	指定値なし	画像が実物大になるように拡大、縮小する。
notifffit	指定値なし	画像が実物大になるように拡大、縮小する。
autopaper	指定値なし	画像の大きさに適した給紙トレイと用紙内の画像の向きを自動的に選択する。
autopaper	用紙 1/ 用紙 2/.../ 用紙 n	画像の大きさに適した給紙トレイと用紙内の画像の向きを自動的に選択する。
autopaper	紙種 1/ 紙種 2/.../ 紙種 n	画像の大きさに適した給紙トレイと用紙内の画像の向きを自動的に選択する。
autopaper	超過率	画像の大きさに適した給紙トレイと用紙内の画像の向きを自動的に選択する。
autopaper	freecut、nofreecut	画像の大きさに適した給紙トレイと用紙内の画像の向きを自動的に選択する。
autopaper	用紙 1/ 用紙 2/.../ 用紙 n/ 紙種 1/ 紙種 2/.../ 紙種 n/ 超過率 / freecut or nofreecut	画像の大きさに適した給紙トレイと用紙内の画像の向きを自動的に選択する。
freesize	幅 x 高さ{/tr or /tt}	不定形サイズを mm 単位で指定する。

印刷オプション名	指定値	機能概要
errorprint	指定値なし	エラーメッセージを印刷する。
noerrorprint	指定値なし	エラーメッセージを印刷する。
maxarea	指定値なし	印刷領域を選択する。
normalarea	指定値なし	印刷領域を選択する。
diskbuffer	指定値なし	データバッファを選択する。
memorybuffer	指定値なし	データバッファを選択する。
orientation	画像方向 (0、90、180、270)	画像方向を選択する。
normalspeed	指定値なし	印刷速度を選択する。
highspeed	指定値なし	印刷速度を選択する。
autoreduce	用紙調整値	指定用紙サイズを調整する。
autoreduce	用紙サイズ / 用紙調整値 a0、a1、a2、a3、a4、a5、a6、b1、 b2、b3、b4、b5、b6、ac、pc、 lt、hl、dl、lg	画像の大きさが指定用紙サイズよりも大きい場合は、指定用紙サイズに縮小する。
cuttray	指定値なし	カット紙トレイの優先使用を選択する。
nocuttray	指定値なし	カット紙トレイの優先使用を選択する。
usercode	ユーザーコード	ユーザーコードを指定する。
pjl	on	後処理関係の印刷オプション(qty、outbin)を有効にする。
qty	ソート部数(1~999)	電子ソートする。
outbin	排紙トレイ (upperなど)	排紙トレイを選択する。
imagedirection	reverse、normal	用紙内の画像の向きを180度回転する。
printersstamp	on、off	ソフトスタンプ機能を使用する。

印刷オプションの指定項目

印刷オプションのそれぞれの指定項目について説明します。

filetype

プリンターが RTIFF モード以外のエミュレーションになっているときに、印刷に使用するエミュレーションを指定します。また、エミュレーションの代わりに登録されているプログラムを指定することもできます。

◆ 書式

filetype= エミュレーション名

filetype= プログラム番号

または

fil= エミュレーション名

fil= プログラム番号

5

◆ 指定値と動作

- ・「エミュレーション名」は 3 文字の省略名です。RTIFF エミュレーションに切り替えるときは「RTF」を指定します。このとき呼び出される RTIFF エミュレーションの印刷条件が、初期値になります。
- ・「プログラム番号」は、「P1」から「P16」のプログラム番号を指定します。RTIFF エミュレーションが登録されているプログラムを指定してください。このとき呼び出される RTIFF エミュレーションの印刷条件が、プログラムに登録される設定値になります。

◆ 説明

- ・この印刷オプションを指定しなかった場合は、プリンター本体で選択されているエミュレーションで印刷されます。RTIFF エミュレーションになっていない場合、正常に印刷されないことがあります。システム設定の「エミュレーション検知」、またはプリンター初期設定の「エミュレーション検知」を「する」に設定している場合、正しい TIFF ファイル、CALS ファイルを送信すると、RTIFF モードに自動的に切り替わります。

tray

印刷に使用する給紙トレイを指定します。

◆ 書式

tray= 紙トレイ番号

◆ 指定値と動作

給紙トレイ番号を指定します。指定した給紙トレイ番号によって給紙トレイが選択されます。

設定値	選択されるトレイ
1	ロール紙 1：定形縦トレイ
2	ロール紙 1：定形横トレイ
3	ロール紙 1：不定形トレイ
4	ロール紙 2：定形縦トレイ
5	ロール紙 2：定形横トレイ
6	ロール紙 2：不定形トレイ
C	カット紙トレイ
T	手差しトレイ

印刷オプションで指定する「給紙トレイ」の指定値と選択されるトレイです。

ロール紙 1 は、オプションの 1 段ロールフィーダーユニット、または 2 段ロールフィーダーユニットを装着してるとときに表示されます。

ロール紙 2 は、オプションの 2 段ロールフィーダーユニットを装着してるとときに表示されます。

カット紙トレイ 1 は、オプションのカット紙トレイを装着してるとときに表示されます。

◆ 説明

- ここで指定した給紙トレイに、プリンターで給紙できない用紙がセットされている場合、この印刷オプションの指定が無効になり、操作部に表示されているトレイから給紙されます。
- この印刷オプションを指定した場合、プリンタ一本体で設定した印刷条件の「給紙トレイ」、「用紙サイズ」、「自動用紙選択」、「用紙超過率」が無効になります。
- 印刷オプションの paper または autopaper のどちらかを同時に指定した場合、この印刷オプションが無効になります。
- PJL、または関連の印刷オプションで回転ソート、パンチを指定している場合、選択されているトレイとは異なるトレイから給紙することができます。

補足

- リミットレス給紙の設定を有効にしていると、指定したトレイと同サイズ、同紙種、同方向のトレイから給紙することができます。また、機種の違いにより、指定したトレイと同サイズ、同紙種の異方向のトレイであっても給紙することができます。そのときは印刷条件の「リミットレス給紙」を「自動」、または「しない」に設定するか、印刷オプションで noautotray を指定してください。

paper

指定した用紙のサイズと向きおよび紙種の条件に合った給紙トレイを指定します。

◆ 書式

`paper= 用紙`

`paper= 用紙 / 紙種 1 / 紙種 2 / ... / 紙種 n`



- ・指定値は「/」で区切ってください。

◆ 指定値と動作

給紙トレイを、用紙サイズと向き（「用紙」）および用紙の種類（「紙種 1」、「紙種 2」、...、「紙種 n」）で指定します。

用紙のサイズと向き

5

指定値	動作
a0r	A0 タテ (□) のトレイから給紙されます。
a1	A1 ヨコ (□) のトレイから給紙されます。
a1r	A1 タテ (□) のトレイから給紙されます。
a2	A2 ヨコ (□) のトレイから給紙されます。
a2r	A2 タテ (□) のトレイから給紙されます。
a3	A3 ヨコ (□) のトレイから給紙されます。
a3r	A3 タテ (□) のトレイから給紙されます。
a4	A4 ヨコ (□) のトレイから給紙されます。
b1r	B1 タテ (□) のトレイから給紙されます。
b2	B2 ヨコ (□) のトレイから給紙されます。
b2r	B2 タテ (□) のトレイから給紙されます。
b3	B3 ヨコ (□) のトレイから給紙されます。
b3r	B3 タテ (□) のトレイから給紙されます。
b4	B4 ヨコ (□) のトレイから給紙されます。
s1	914mm x 863mm のトレイから給紙されます。
s2	880mm x 1250mm のトレイから給紙されます。
s3	880mm x 625mm のトレイから給紙されます。
s4	800mm x 1131mm のトレイから給紙されます。
s5	660mm x 848mm のトレイから給紙されます。
s6	440mm x 625mm のトレイから給紙されます。
s7	440mm x 312mm のトレイから給紙されます。
s8	680mm x 962mm のトレイから給紙されます。

指定値	動作
s9	490mm x 693mm のトレイから給紙されます。

用紙の種類

指定値	動作
plain	普通紙（本体の操作パネルで紙種の設定されていないトレイ）から給紙されます。
recycled	再生紙のトレイから給紙されます。
film	フィルム紙のトレイから給紙されます。
translucent	トレーシングペーパーのトレイから給紙されます。
plainorrecycled	普通紙 / 再生紙のトレイから給紙されます。

◆ 説明

- ・指定値「紙種 1」、「紙種 2」、...、「紙種 n」を指定した場合、用紙サイズと向きの条件が一致し、さらに紙種が一致する給紙トレイから給紙されます。紙種を指定していないときは、「普通紙」、「再生紙」のどちらかの用紙がセットされているトレイから給紙されます。
- ・この印刷オプションで指定した用紙のサイズと向きおよび紙種のすべての条件を満たす給紙トレイがセットされていない場合は、パネルに表示されているトレイから給紙されます。
- ・手差しトレイ、自動用紙選択の対象外に設定されているトレイ、または「普通紙」または「再生紙」以外の紙種が設定されている給紙トレイは選択の対象なりません。
- ・印刷条件の「カット紙トレイ優先」が「する」に設定されていて、サイズおよび紙種が同一である用紙がカット紙トレイとロール紙トレイの両方にセットされていた場合、カット紙トレイを優先します。
- ・この印刷オプションを指定した場合、印刷オプションの tray、プリンタ一本体で設定した印刷条件の「給紙トレイ」、「用紙サイズ」、「自動用紙選択」、「用紙超過率」が無効になります。
- ・印刷オプションの autopaper を同時に指定した場合、この印刷オプションが無効になります。

↓ 補足

- ・リミットレス給紙の設定を有効にしていると、指定したトレイと同サイズ、同紙種、同方向のトレイから給紙することができます。また、機種の違いにより、指定したトレイと同サイズ、同紙種の異方向のトレイであっても給紙することができます。そのときは印刷条件の「リミットレス給紙」を「自動」、または「しない」に設定するか、印刷オプションで noautotray を指定してください。

bin

印刷した用紙が排出されるトレイを指定します。

◆ 書式

`bin=` 排紙トレイ番号

◆ 指定値と動作

排紙トレイ番号を指定します。指定した排紙トレイ番号によって排紙トレイが選択されます。

本体のみ

指定値	選択されるトレイ
0	システム初期設定の「排紙先：プリンター」で設定された排紙先に排紙されます。
1	上排紙口
2	下排紙口

5

◆ 説明

- この印刷オプションを指定しない場合、排紙先はシステム設定の「排紙トレイ設定」、またはシステム初期設定の「排紙先：プリンター」で設定した排紙トレイになります。
- 給紙する用紙サイズが大きいなど、この印刷オプションで指定した排紙トレイに排紙できない場合は、別の排紙トレイに排紙することができます。
- PJL、または関連の印刷オプションで、パンチを指定している場合、選択されているトレイとは異なるトレイから給紙することができます。

autotray, noautotray

印刷中に給紙トレイの用紙がなくなった場合、他の給紙トレイに自動的に切り替えて印刷するかどうかを指定します。

◆ 書式

`autotray`
`noautotray`

◆ 指定値と動作

印刷オプション名	動作
<code>autotray</code>	給紙トレイが自動的に切り替えられます。
<code>noautotray</code>	給紙トレイは自動的に切り替えられません。

◆ 説明

- これらの印刷オプションを指定した場合、プリンタ一本で設定した印刷条件の「リミットレス給紙」が無効になります。
- 切り替え対象の給紙トレイは、用紙のなくなった給紙トレイと同サイズ、同紙種、同方向の用紙がセットされている場合に有効です。

portrait, landscape

画像が印刷される向きを指定します。

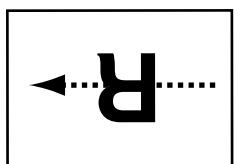
◆ 書式

portrait
landscape

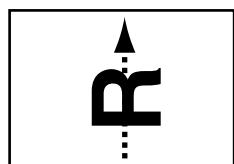
◆ 指定値と動作

- 以下の向きに印刷されます。

 の場合



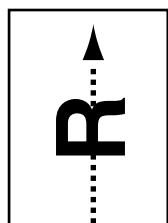
portrait



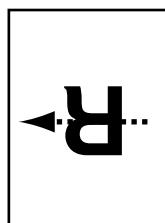
landscape

5

 の場合



portrait



landscape

← は排紙方向
←··· は主走査方向

- 主走査方向とは、プリンターに送信した画像データの送信順を指します。

◆ 説明

- これらの印刷オプションを指定した場合、プリンター本体で設定した印刷条件の「印刷方向」が無効になります。
- 印刷条件の「自動用紙選択」を「する」に設定する場合で、印刷オプションの tray、paper のどちらも指定しない場合、これらの印刷オプションが無効になります。
- 印刷オプションの autopaper を同時に指定した場合、これらの印刷オプションが無効になります。
- PJL、または関連の印刷オプションで、パンチを指定している場合、用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷することができます。
- PJL、または関連の印刷オプションで、逆方向印刷を指定している場合、用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷することができます。

200dpi, 300dpi, 400dpi, 600dpi

プリンター内部で印刷に使用する解像度を指定します。

◆ 書式

200dpi
300dpi
400dpi
600dpi

◆ 指定値と動作

印刷オプション名	動作
200dpi	200dpi で印刷されます。
300dpi	300dpi で印刷されます。
400dpi	400dpi で印刷されます。
600dpi	600dpi で印刷されます。

◆ 説明

- ・これらの印刷オプションを指定した場合、プリンター本体で設定した印刷条件の「エンジン解像度」が無効になります。

copies

印刷する部数を指定します。指定した部数で各ページが複写印刷されます。

◆ 書式

`copies=` 印刷部数

◆ 指定値と動作

- ・「印刷部数」は、1~999 の範囲の整数で指定します。

◆ 説明

- ・この印刷オプションを指定した場合、プリンター本体で設定した「印刷部数」が無効になります。

↓ 補足

- ・この印刷オプションは、各ページごとを指定した部数で印刷します。マルチ TIFF を複数部数印刷する場合は、印刷オプションの「qty」をお使いください。

mag

画像を拡大または縮小して印刷する変倍率を指定します。拡大または縮小しても、画像の縦横比は保持されます。

◆ 書式

`mag=` 変倍率

`mag=` 用紙 1. 用紙 2

指定値は、「.」で区切ってください。

◆ 指定値と動作

- 「変倍率」は、0.002~500 の範囲の整数または小数で指定します。「1.0」よりも大きい値を指定すると拡大、小さい値を指定すると縮小されます。
- 「用紙 1」および「用紙 2」の 2 つのサイズを指定します。「用紙 1」のサイズが「用紙 2」のサイズになるような変倍率で印刷されます。指定値とその用紙サイズは、以下のとおりです。

指定値	用紙サイズ
a0	A0
a1	A1
a2	A2
a3	A3
a4	A4
b1	B1
b2	B2
b3	B3
b4	B4

◆ 説明

- 印刷オプションの `xmag`、`ymag`、`fit`、`nofit`、`tifffit`、`notifffit`、`autoreduce` が指定されている場合、またはプリンター本体の印刷条件で「横変倍率」、「縦変倍率」、「自動変倍」、「実サイズ変倍」、「自動縮小」が設定されている場合、その変倍率とこの印刷オプションで指定した変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。
- この印刷オプションを指定した場合、プリンター本体で設定した印刷条件の「変倍率」が無効になります。

↓ 補足

- 印刷オプションの `autoreduce`、または印刷条件の「自動縮小」を「縮小しない」以外に設定した場合と、印刷条件の「自動変倍」の「する」、または印刷オプションの `fit` を同時に指定した場合、`autoreduce` の指定、または印刷条件「自動縮小」の設定が優先されます。

leftspace

左側の余白を指定します。

◆ 書式

`leftspace=寸法`



5

◆ 指定値と動作

- ・「寸法」は、印刷領域の左端から印刷開始位置までの寸法を-30~30cm の範囲の単位付きの整数または小数で指定します。ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じことがあります。
- ・上記の寸法内であれば、mm や inch (約 25.4mm)、pt (ポイント)、dot でも指定できます。たとえば、25mm を指定するときの印刷オプションは以下のとおりです。

`leftspace=25mm`

単位を省略すると、cm で指定したことになります。

- ・この印刷オプションを指定した場合、余白は、この印刷オプションの指定値とプリンタ本体で設定した印刷条件の「左余白」の設定値を加えた値になります。

rightspace

右側の余白を指定します。

◆ 書式

`rightspace=寸法`



◆ 指定値と動作

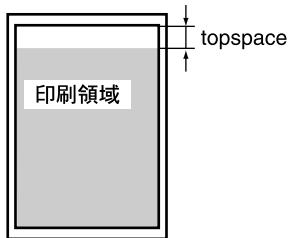
- ・「寸法」は、印刷領域の右端から印刷終了位置までの寸法を-30~30cm の範囲の単位付きの整数または小数で指定します。ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じることがあります。
- ・上記の寸法内であれば、mm や inch (約 25.4mm)、pt (ポイント)、dot でも指定できます。たとえば、25mm を指定するときの印刷オプションは以下のとおりです。
`rightspace=25mm`
- 単位を省略すると、cm で指定したことになります。
- ・この印刷オプションを指定した場合、余白は、この印刷オプションの指定値とプリンター本体で設定した印刷条件の「右余白」の設定値を加えた値になります。

topspace

上側の余白を指定します。

◆ 書式

`topspace=寸法`



◆ 指定値と動作

5

- ・「寸法」は、印刷領域の上端から印刷開始位置までの寸法を-30~30cmの範囲の単位付きの整数または小数で指定します。ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じることがあります。

- ・上記の寸法内であれば、mm や inch (約 25.4mm)、pt (ポイント)、dot でも指定できます。たとえば、25mm を指定するときの印刷オプションは以下のとおりです。

`topspace=25mm`

単位を省略すると、cm で指定したことになります。

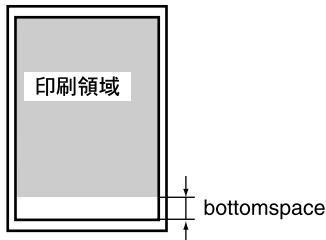
- ・この印刷オプションを指定した場合、余白は、この印刷オプションの指定値とプリンター本体で設定した印刷条件の「上余白」の設定値を加えた値になります。

bottomspace

下側の余白を指定します。

◆ 書式

`bottomspace= 寸法`



◆ 指定値と動作

- ・「寸法」は、印刷領域の下端から印刷終了位置までの寸法を-30~30cmの範囲の単位付きの整数または小数で指定します。ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じことがあります。

- ・上記の寸法内であれば、mm や inch (約 25.4mm)、pt (ポイント)、dot でも指定できます。たとえば、25mm を指定するときの印刷オプションは以下のとおりです。

`bottomspace=25mm`

単位を省略すると、cm で指定したことになります。

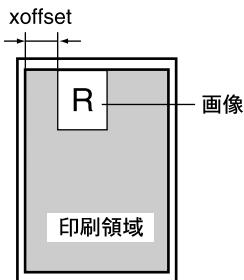
- ・この印刷オプションを指定した場合、余白は、この印刷オプションの指定値とプリンター本体で設定した印刷条件の「下余白」の設定値を加えた値になります。

xoffset

印刷位置の横方向の移動量を指定します。

◆ 書式

`xoffset=寸法`



◆ 指定値と動作

5

- ・「寸法」は、印刷位置の移動量を-100~100cmの範囲の単位付きの整数または小数で指定します。マイナスの値を指定すると左に、プラスの値を指定すると右に移動します。
- ・上記の寸法内であれば、mm や inch (約 25.4mm)、pt (ポイント)、dot でも指定できます。たとえば、25mm を指定するときの印刷オプションは以下のとおりです。
`xoffset=25mm`

単位を省略すると、cm で指定したことになります。

◆ 説明

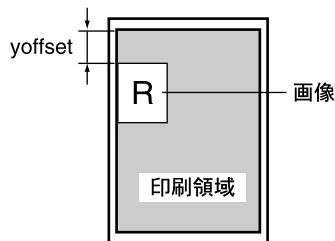
- ・この印刷オプションを指定した場合、移動量は、この印刷オプションの指定値とプリンタ本体で設定した印刷条件の「X オフセット」の設定値を加えた値になります。
- ・印刷オプションで `xmargin`、`center`、`nocenter` のどれかが指定されている場合、または印刷条件で「X マージン」、「中央配置」が設定されている場合、その指定値とこの印刷オプションの指定値に従って横方向に移動します。

yoffset

印刷位置の縦方向の移動量を指定します。

◆ 書式

`yoffset=寸法`



◆ 指定値と動作

- ・「寸法」は、印刷位置の移動量を-100~100cm の範囲の単位付きの整数または小数で指定します。マイナスの値を指定すると上に、プラスの値を指定すると下に移動します。
- ・上記の寸法内であれば、mm や inch (約 25.4mm)、pt (ポイント)、dot でも指定できます。たとえば、25mm を指定するときの印刷オプションは以下のとおりです。

`yoffset=25mm`

単位を省略すると、cm で指定したことになります。

◆ 説明

- ・この印刷オプションを指定した場合、移動量は、この印刷オプションの指定値とプリンタ一本体で設定した印刷条件の「Y オフセット」の設定値を加えた値になります。
- ・印刷オプションで ymargin、center、nocenter のどれかが指定されている場合、または印刷条件で「Y マージン」、「中央配置」が設定されている場合、その指定値とこの印刷オプションの指定値に従って縦方向に移動します。

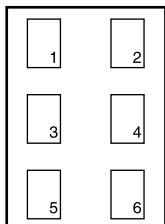
multicols

複数の画像を1枚の用紙に印刷するように指定します。横方向に並べる画像数（列数）を指定します。

◆ 書式

`multicols=画像数`

`multicols`
(「2」を指定した場合)



`multirows`
(「3」を指定した場合)

5

◆ 指定値と動作

- ・「画像数」は、列数を1~10の範囲の整数で指定します。

◆ 説明

- ・縦方向に並べる画像数（行数）は、印刷オプションの `multirows` またはプリンター本体の印刷条件の「マルチロー」で指定します。
- ・複数画像の印刷を指定した場合、設定した画像数に満たなくとも以下のときは印刷されます。
 - ・エミュレーション切り替えコマンドなどのESCシーケンスコマンドを受信したとき
 - ・プリンターがネットワークに接続されている場合に、「EOF」を受信したとき
 - ・プリンターがパラレル接続されている場合に、オフライン状態で「強制排紙」を押したとき
 - ・プリンター初期設定の「システム設定(EM)」にある「自動排紙時間」で設定した時間が経過したとき
- ・この印刷オプションを指定した場合、プリンター本体で設定した印刷条件の「マルチカラム」が無効になります。
- ・印刷条件の「自動用紙選択」を「する」に設定する場合で、印刷オプションの `tray`、`paper` のどちらも指定しない場合、この印刷オプションが無効になります。
- ・印刷オプションの `autopaper` を同時に指定した場合、この印刷オプションが無効になります。

参照

- ・『初期設定編』「自動排紙時間」

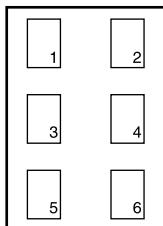
multirows

複数の画像を1枚の用紙に印刷するように指定します。縦方向に並べる画像数（行数）を指定します。

◆ 書式

`multirows=画像数`

`multicols`
(「2」を指定した場合)



`multirows`
(「3」を指定した場合)

◆ 指定値と動作

- ・「画像数」は、行数を1~10の範囲の整数で指定します。

◆ 説明

- ・横方向に並べる画像数（列数）は、印刷オプションの `multicols` またはプリンター本体の印刷条件の「マルチカラム」で指定します。
- ・複数画像の印刷を指定した場合、設定した画像数に満たなくとも以下のときは印刷されます。
 - ・エミュレーション切り替えコマンドなどのESCシーケンスコマンドを受信したとき
 - ・プリンターがネットワークに接続されている場合に、「EOF」を受信したとき
 - ・プリンターがパラレル接続されている場合に、オフライン状態で「強制排紙」を押したとき
 - ・プリンター初期設定の「システム設定(EM)」にある「自動排紙時間」で設定した時間が経過したとき
- ・この印刷オプションを指定した場合、プリンター本体で設定した印刷条件の「マルチロー」が無効になります。
- ・印刷条件の「自動用紙選択」を「する」に設定する場合で、印刷オプションの `tray`、`paper` のどちらも指定しない場合、この印刷オプションが無効になります。
- ・印刷オプションの `autopaper` を同時に指定した場合、この印刷オプションが無効になります。

参照

- ・『初期設定編』「自動排紙時間」

xmag

横方向の変倍率を指定します。画像が横方向に拡大、縮小して印刷されます。

◆ 書式

`xmag= 変倍率`

◆ 指定値と動作

- ・「変倍率」は、0.002～500 の範囲の整数または小数で指定します。「1.0」よりも大きい値を指定すると拡大、小さい値を指定すると縮小されます。

◆ 説明

- ・印刷オプションの `mag`、`fit`、`nofit`、`tifffit`、`notifffit`、`autoreduce` が指定されている場合、またはプリンタ一本体の印刷条件で「変倍率」、「自動変倍」、「実サイズ変倍」、「自動縮小」が設定されている場合、その変倍率とこの印刷オプションで指定した変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。
- ・この印刷オプションを指定した場合、プリンタ一本体で設定した印刷条件の「横変倍率」が無効になります。

5

補足

- ・印刷オプションの `autoreduce`、または印刷条件の「自動縮小」を「縮小しない」以外に設定した場合と、印刷条件の「自動変倍」の「する」、または印刷オプションの `fit` を同時に指定した場合、`autoreduce` の指定、または印刷条件「自動縮小」の設定が優先されます。

ymag

縦方向の変倍率を指定します。画像が縦方向に拡大、縮小して印刷されます。

◆ 書式

`ymag= 変倍率`

◆ 指定値と動作

- ・「変倍率」は、0.002～500 の範囲の整数または小数で指定します。「1.0」よりも大きい値を指定すると拡大、小さい値を指定すると縮小されます。

◆ 説明

- ・印刷オプションの `mag`、`fit`、`nofit`、`tifffit`、`notifffit`、`autoreduce` が指定されている場合、またはプリンタ一本体の印刷条件で「変倍率」、「自動変倍」、「実サイズ変倍」、「自動縮小」が設定されている場合、その変倍率とこの印刷オプションで指定した変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。
- ・この印刷オプションを指定した場合、プリンタ一本体で設定した印刷条件の「縦変倍率」が無効になります。

補足

- ・印刷オプションの `autoreduce`、または印刷条件の「自動縮小」を「縮小しない」以外に設定した場合と、印刷条件の「自動変倍」の「する」、または印刷オプションの `fit` を同時に指定した場合、`autoreduce` の指定、または印刷条件「自動縮小」の設定が優先されます。

negative, positive

画像の白黒を反転して印刷するかどうかを指定します。

◆ 書式

negative
positive

◆ 指定値と動作

印刷オプション名	動作
negative	白黒反転して印刷されます。
positive	通常に印刷されます。

◆ 説明

これらの印刷オプションを指定した場合、プリンター本体で設定した印刷条件の「白黒反転」が無効になります。

brightness

多値画像（グレースケール）の明るさを指定します。

◆ 書式

brightness= 明るさ

◆ 指定値と動作

- ・「明るさ」は、0.01～999 の範囲の整数または小数で指定します。「1.0」よりも大きい値を指定すると画像が全体的に明るく（白っぽく）、小さい値を指定すると全体的に暗く（黒っぽく）印刷されます。

◆ 説明

- ・「0.01」を指定すると、画像が黒 1 色になります。
- ・「999」を指定すると、画像が白 1 色になります
- ・2 値画像（黒と白のみ）の場合、この印刷オプションの指定は無効になります。
- ・この印刷オプションを指定した場合、プリンター本体で設定した印刷条件の「明るさ」が無効になります。

contrast

多値画像（グレースケール）のコントラストを指定します。

◆ 書式

`contrast=コントラスト`

◆ 指定値と動作

- 「コントラスト」は、0.01～999 の範囲の整数または小数で指定します。「1.0」よりも大きい値を指定すると画像の明暗の差が大きく、小さい値を指定すると明暗の差が小さく印刷されます。

◆ 説明

- 「0.01」を指定すると、グレー1色になります。
- 「999」を指定すると、白と黒のみになります
- 2値画像（黒と白のみ）の場合、この印刷オプションの指定は無効になります。
- この印刷オプションを指定した場合、プリンター本体で設定した印刷条件の「コントラスト」が無効になります。

5

center, nocenter

印刷領域の中央に画像を印刷するかどうかを指定します。

◆ 書式

`center`
`nocenter`

◆ 指定値と動作

印刷オプション名	動作
<code>center</code>	画像が中央に配置されて印刷されます。
<code>nocenter</code>	印刷領域の左上端が印刷開始位置（画像の左上端）になるように印刷されます。

◆ 説明

- `center` を指定している場合でも、印刷オプションの `xoffset`、`yoffset`、`xmargin`、`ymargin` を指定するか、プリンター本体の印刷条件で「X オフセット」、「Y オフセット」、「X マージン」、「Y マージン」を設定すると、その指定値の分だけ中央から移動して印刷されます。
- 印刷領域は、各余白、印刷オプションの `multicols`、`multirows`、プリンター本体で設定されている印刷条件の「マルチカラム」、「マルチロー」の設定値に従って印刷される領域です。
- これらの印刷オプションを指定した場合、プリンター本体で設定した印刷条件の「中央配置」が無効になります。

fit, nofit

受信した画像の大きさが、印刷領域に収まるように自動的に拡大、縮小して印刷するかどうかを指定します。このとき、画像の縦横比は保持されます。

◆ 書式

`fit`

`nofit`

◆ 指定値と動作

印刷オプション名	動作
<code>fit</code>	印刷領域に合わせて、拡大、縮小されて印刷されます。
<code>nofit</code>	等倍で印刷されます。

◆ 説明

- ・`fit` を指定している場合でも、印刷オプションの `mag`、`xmag`、`ymag`、`tifffit`、`notifffit` を指定するか、プリンター本体の印刷条件で「変倍率」、「横変倍率」、「縦変倍率」、「実サイズ変倍」を設定すると、その変倍率とこの印刷オプションで指定した印刷領域に合わせた変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。
- ・印刷領域は、各余白、印刷オプションの `multicols`、`multirows`、プリンター本体で設定されている印刷条件の「マルチカラム」、「マルチロー」の設定値に従って印刷される領域です。
- ・これらの印刷オプションを指定した場合、プリンター本体で設定した印刷条件の「自動変倍」が無効になります。

補足

- ・印刷オプションの `autoreduce`、または印刷条件の「自動縮小」を「縮小しない」以外に設定した場合、印刷オプションの `fit` は無効になります。

tifffit, notifffit

受信した画像を自動的に拡大、縮小して、実物大で印刷するように指定します。

◆ 書式

tifffit
notifffit

◆ 指定値と動作

印刷オプション名	動作
tifffit	実物大の大きさで印刷されます。
notifffit	実物大の大きさで印刷されません。等倍の大きさで印刷されます。

◆ 説明

5

- ・拡大、縮小の倍率は、TIFF データのタグに記述されている横および縦方向の解像度情報と印刷時のエンジン解像度を基に計算できます。たとえば、横方向の解像度が 200dpi、縦方向の解像度が 400dpi のタグを持つ TIFF データを 600dpi のエンジン解像度で印刷した場合、横方向は 3.0 倍 (600/200)、縦方向は 1.5 倍 (600/400) で印刷されます。
- ・マルチページの TIFF データの場合、各ページの解像度情報を基に拡大、縮小されます。
- ・tifffit を指定している場合でも、印刷オプションの mag、xmag、ymag、fit、nofit、autoreduce を指定するか、プリンター本体の印刷条件で「変倍率」、「横変倍率」、「縦変倍率」、「自動変倍」、「自動縮小」を設定すると、その変倍率とこの印刷オプションで指定した画像を実物大にする変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。
- ・解像度情報のタグがない TIFF データやページを印刷する場合、この印刷オプションの指定は無効になります。
- ・これらの印刷オプションを指定した場合、プリンター本体で設定した印刷条件の「実サイズ変倍」が無効になります。

補足

- ・印刷オプションの autoreduce、または印刷条件の「自動縮小」を「縮小しない」以外に設定した場合と、印刷条件の「自動変倍」の「する」、または印刷オプションの fit を同時に指定した場合、autoreduce の指定、または印刷条件「自動縮小」の設定が優先されます。

autopaper

画像の大きさに適した用紙サイズの給紙トレイが自動的に選択され、画像の向きも適切な方向で印刷されるように指定します。用紙のサイズと向きや紙種を指定しておくと、指定した内容と一致する給紙トレイが自動的に選択されます。

◆ 書式

`autopaper`

`autopaper=用紙 1/ 用紙 2/.../ 用紙 n`

`autopaper=紙種 1/ 紙種 2/.../ 紙種 n`

`autopaper=超過率`

`autopaper=freecut`

`autopaper=用紙 1/ 用紙 2/.../ 用紙 n/ 紙種 1/ 紙種 2/.../ 紙種 n/ 超過率`

指定値は、「/」で区切ってください。

◆ 指定値と動作

- 選択の対象にする給紙トレイを、用紙サイズと向き（「用紙 1」、「用紙 2」、...、「用紙 n」）、および用紙の種類（「紙種 1」、「紙種 2」、...、「紙種 n」）で指定します。指定値を指定しない場合は、すべての給紙トレイが選択の対象になります。ただし、選択の対象にならないトレイもあります。
- 「超過率」は、適切な用紙サイズから画像がはみ出したり余白ができる許容範囲を % 付きの整数で指定します（% は省略することもできます）。「超過率」を「10%」と指定すると、用紙が 10% 分大きいサイズ（110% の大きさ）まで印刷できるものとして給紙トレイが選択されます。「-10%」と指定すると、用紙が 10% 分小さいサイズ（90% の大きさ）しか印刷できないものとして給紙トレイが選択されます。指定値を指定しない場合は、プリンタ一本体で設定されている印刷条件の「用紙超過率」の値をもとに給紙トレイが選択されます。

用紙のサイズと向き

指定値	動作
a0r	A0 タテ (□) のトレイから給紙されます。
a1	A1 ヨコ (□) のトレイから給紙されます。
a1r	A1 タテ (□) のトレイから給紙されます。
a2	A2 ヨコ (□) のトレイから給紙されます。
a2r	A2 タテ (□) のトレイから給紙されます。
a3	A3 ヨコ (□) のトレイから給紙されます。
a3r	A3 タテ (□) のトレイから給紙されます。
a4	A4 ヨコ (□) のトレイから給紙されます。
a4r	A4 タテ (□) のトレイから給紙されます。
b1r	B1 タテ (□) のトレイから給紙されます。
b2	B2 ヨコ (□) のトレイから給紙されます。
b2r	B2 タテ (□) のトレイから給紙されます。

指定値	動作
b3	B3 ヨコ (□) のトレイから給紙されます。
b3r	B3 タテ (□) のトレイから給紙されます。
s1	914mm x 863mm のトレイから給紙されます。
s2	880mm x 1250mm のトレイから給紙されます。
s3	880mm x 625mm のトレイから給紙されます。
s4	800mm x 1131mm のトレイから給紙されます。
s5	660mm x 848mm のトレイから給紙されます。
s6	440mm x 625mm のトレイから給紙されます。
s7	440mm x 312mm のトレイから給紙されます。
s8	680mm x 962mm のトレイから給紙されます。
s9	490mm x 693mm のトレイから給紙されます。

5

用紙の種類

指定値	動作
plain	普通紙（本体の操作パネルで紙種の設定されていないトレイ）から給紙されます。
recycled	再生紙のトレイから給紙されます。
film	フィルム紙のトレイから給紙されます。
translucent	トレーシングペーパーのトレイから給紙されます。
plainorrecycled	普通紙 / 再生紙のトレイから給紙されます。

◆ 説明

- ・印刷オプションの mag、xmag、ymag、tifffit、notifffit、autoreduce、leftspace、rightspace、topspace、bottomspace、xoffset、yoffset のどれかを指定しているか、プリンター本体の印刷条件で「変倍率」、「横変倍率」、「縦変倍率」、「実サイズ変倍」、「自動縮小」、「左余白」、「右余白」、「上余白」、「下余白」、「X オフセット」、「Y オフセット」のどれかを設定しているときは、これらの指定や設定が反映された画像の大きさを基準に給紙トレイが選択されます。
- ・この印刷オプションで指定した用紙のサイズと向き、紙種のすべての条件を満たす給紙トレイがセットされていない場合、操作部に表示されている給紙トレイから給紙されます。
- ・指定値「用紙 1」、「用紙 2」、...、「用紙 n」を指定した場合、用紙サイズと向きが一致する給紙トレイだけが、選択の対象になります。指定値で指定された用紙に一致する給紙トレイがないときは、操作部に表示されている給紙トレイから給紙されます。
- ・指定値「用紙 1」、「用紙 2」、...、「用紙 n」を指定しない場合、すべてのトレイが選択の対象になります。
- ・指定値「紙種 1」、「紙種 2」、...、「紙種 n」を指定した場合、紙種が一致する給紙トレイだけが、選択の対象になります。指定値で指定された紙種に一致する給紙トレイがないときは、操作部に表示されている給紙トレイから給紙されます。
- ・指定値「紙種 1」、「紙種 2」、...、「紙種 n」を指定しない場合、「普通紙」、「再生紙」のどちらかの用紙がセットされているトレイだけが選択の対象になります。
- ・選択の対象となっている給紙トレイの最大の用紙サイズよりも画像が大きい場合、給紙トレイの中で最大の用紙サイズの給紙トレイが選択されます。
- ・この印刷オプションを指定した場合、印刷オプションの tray、paper、portrait、landscape、multicols、multirows、プリンター本体で設定されている印刷条件の「給紙トレイ」、「用紙サイズ」、「印刷方向」、「マルチカラム」、「マルチロー」、「自動用紙選択」が無効になります。
- ・この印刷オプションで超過率を指定した場合、プリンター本体で設定されている印刷条件の「用紙超過率」が無効になります。
- ・PJL、または関連の印刷オプションで、スタンプを指定している場合、用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されることがあります。
- ・PJL、または関連の印刷オプションで、逆方向印刷を指定している場合、用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されることがあります。
- ・印刷条件の「不定形オートカット」を「する」に設定した場合や、印刷オプションの autopaper に指定値 freecut をつけて指定した場合、不定形トレイを優先することができます。

◆ 指定値 freecut、nofreecut について

印刷画像のサイズ判別を行い、不定形サイズの印刷画像を最小の大きさで印刷されるように設定することができます。

- ・定形サイズの用紙サイズから ±10mm の範囲で、画像を回転させて収まらない大きさを不定形サイズと判定します。
- ・印刷オプション autopaper に指定値 freecut またはnofreecut をつけて指定した場合、印刷条件の「不定形オートカット」項目の設定は無効になります。
- ・印刷オプションの freesize と同時に指定値 freecut を指定して不定形トレイに印刷した場合、freesize は無効になります。定形トレイに印刷した場合、freesize は有効になります。
- ・印刷画像が定形サイズと判定される、または印刷できるトレイがない場合、この項目の設定が無効になります。
- ・トレイ検索方法は以下のとおりです。
 - 1) 印刷画像サイズの判定を行います。
 - 2) 不定形サイズの場合、幅の小さい不定形トレイから画像が収まるトレイを検索します。
 - ・画像の長辺が不定形トレイの幅に収まる場合、そのトレイに印刷します。
 - ・画像の短辺が不定形トレイの幅に収まる場合、そのトレイに印刷します。
 - 3) 画像が収まる不定形トレイがない場合、この項目の設定が無効になり、「自動用紙選択」と同じ動作になります。
 - 4) 印刷時に不定形トレイのサイズが変更された場合、そのサイズが印刷したトレイのサイズになります。

freesize

不定形サイズを指定することができます。

◆ 書式

`freesize=幅 × 高さ`

`freesize=幅 × 高さ /tr`

`freesize=幅 × 高さ /tt`

◆ 指定値と動作

印刷オプション名	動作
幅	用紙の横方向の長さを mm 単位で指定します。
高さ	用紙の縦方向の長さを mm 単位で指定します。
/tr	ロール紙不定形サイズを指定します。
/tt	手差し不定形サイズを指定します。

◆ 説明

- ・ mm や cm、inch (約 25.4mm)、pt (ポイント)、dot でも指定できます。たとえば、幅 210mm、長さ 520mm のサイズを指定するときの印刷オプションは以下のとおりです。
`freesize=210x520mm`

- ・ 単位を省略すると、mm で指定したことになります。
- ・ 不定形サイズの設定範囲はチェックしません。
- ・ 範囲外の数値が指定された場合、印刷可能なサイズに一番近いサイズから給紙されます。
- ・ 手差し不定形サイズを指定した場合は、手差しの用紙サイズを不定形に変更します。
- ・ 最大値を超えた場合には、最大値の範囲内で印刷されます。
- ・ 使用しているトレイに不定形サイズが設定されていない場合には、不定形サイズの設定されているトレイを指定します。
- ・ 印刷条件の「自動用紙選択」と「不定形オートカット」を「する」に設定した場合や、印刷オプションの `autopaper` に指定値 `freecut` をつけて指定した場合、この印刷オプションの指定が無効となる場合があります。

errorprint, noerrorprint

エラーが発生したときに、エラーメッセージを印刷するかどうかを指定します。

◆ 書式

```
errorprint
noerrorprint
```

◆ 指定値と動作

印刷オプション名	動作
errorprint	エラーメッセージが印刷されます。
noerrorprint	エラーメッセージが印刷されません。

◆ 説明

- errorprint を指定すると、RTIFF エミュレーションに切り替えた後に発生したエラー、または前回のエラーメッセージの印刷後に発生したエラーについて、エラーメッセージが印刷されます。
- errorprint を指定していても、RTIFF エミュレーションがリセットされた場合は、エラーメッセージが印刷されません。
- noerrorprint を指定していても、操作部やサマリー印刷指定コマンドで印刷条件リストを印刷すると、エラー欄にエラーメッセージが印刷されます。
- これらの印刷オプションを指定した場合、プリンター本体で設定した印刷条件の「エラー印刷」が無効になります。

補足

- エラーメッセージの詳細について詳しくは、「エラーメッセージ」を参照してください。

参照

- P.113 「エラーメッセージ」

maxarea, normalarea

用紙に余白をとって印刷するか、用紙いっぱいに印刷するかを指定します。

◆ 書式

maxarea
normalarea

◆ 指定値と動作

印刷オプション名	動作
maxarea	ほぼ用紙サイズいっぱいを印刷領域として印刷されます。
normalarea	用紙の上下左右に約 5mm ずつ余白を設定し、その内側を印刷領域として印刷されます。

◆ 説明

- ・カスタムサイズ（不定形サイズ）の用紙を給紙する場合、常に maxarea を指定した状態で印刷されます。
- ・A3 ノビの用紙を給紙する場合、常に normalarea を指定した状態で印刷されます。
- ・印刷領域を指定しても、諸条件によって、実際の用紙上の印刷位置は想定どおりにならないことがあります。
- ・これらの印刷オプションを指定した場合、プリンター本体で設定した印刷条件の「印刷領域」が無効になります。

diskbuffer, memorybuffer

プリンター内部で TIFF データをラスタライズする間、入力データを一時的に記憶しておくためのデータバッファ（デバイス）を指定します。

★ 重要

- ・ diskbuffer を指定している場合、入力データの処理中にプリンターの電源を切らないでください。入力データの処理中にプリンターの電源を切ると、ハードディスクが破損するおそれがあります。

◆ 書式

diskbuffer
memorybuffer

◆ 指定値と動作

印刷オプション名	動作
diskbuffer	データバッファにハードディスクが使用されます。
memorybuffer	データバッファにメモリーが使用されます。

◆ 説明

- diskbuffer を指定すると、データの格納順序の制約やデータサイズの制限のためエラーが発生して印刷できない TIFF ファイル、または CALS ファイルが印刷できることがあります。
- diskbuffer を指定すると、入力データによっては指定しない場合に比べて印刷に時間がかかることがあります。
- これらの印刷オプションを指定した場合、プリンター本体で設定した印刷条件の「データバッファ」が無効になります。

補足

- データバッファの機能は、プリンター本体の受信バッファ、スプール印刷、画像スプールの機能とは異なります。これらの機能については、『プリンター機能編』を参照してください。
- TIFF データの格納順序の制約やデータサイズの制限については、入力データの仕様を参照してください。

5

orientation

orientation の指定により、画素方向に対して、画像の向きを変更できます。

◆ 書式

- orientation= 画像方向

◆ 指定値と動作

指定値	動作
0	画像の向きと、画素方向が同一の画像データとして後処理を行います。
90	画像の向きが、画素方向に対し 90° 回転している画像データとして後処理を行います。
180	画像の向きが、画素方向に対し 180° 回転している画像データとして後処理を行います。
270	画像の向きが、画素方向に対し 270° 回転している画像データとして後処理を行います。

補足

- orientation を指定した場合、印刷条件の「画像の向き」の設定は無効になります。

normalspeed, highspeed

normalspeed、highspeed の指定により、印刷時の印刷速度を選択できます。

設定値には、通常の速度で印刷するか、高速で印刷するかを指定します。

◆ 書式

```
normalspeed  
highspeed
```

◆ 指定値と動作

印刷オプション名	動作
normalspeed	通常の速度で印刷します。
highspeed	高速で印刷します。

「highspeed」を指定した場合、印刷するイメージデータによっては画質が落ちる場合があります。

↓ 補足

- normalspeed、highspeed のいずれかを指定した場合、印刷条件の「速度優先」の設定は無効となります。

autoreduce

autoreduce の指定により、画像サイズが用紙サイズに収まらない場合、用紙に収まるように縮小して印刷します。画像サイズが用紙サイズに収まる場合、等倍で印刷します。

◆ 書式

autoreduce=用紙サイズ

autoreduce=用紙サイズ / 用紙調整値

◆ 指定値と動作

指定値には、変倍・等倍を判定するための基準となる用紙サイズと用紙調整値を指定します。

指定値	用紙サイズ
a0	A0
a1	A1
a2	A2
a3	A3
a4	A4
a5	A5
a6	A6
b4	B4
b5	B5
b6	B6
pc	ハガキ
ac	ANSI-C (17×22)
lt	レター
hl	ハーフレター
dl	ダブルレター
lg	リーガル

用紙調整値は、-30cm～30cm の範囲の単位つきの整数または小数を指定できます。実効値が上記範囲内であれば、cm の他に、mm、inch (25.4mm)、pt (ポイント)、dot (ドット数) で数値も指定できます。単位を省略した場合は cm で指定します。

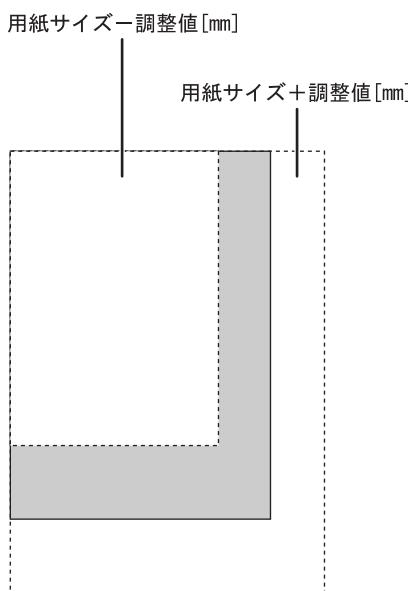
◆ 説明

- 用紙の指定がない場合は、この印刷オプションの指定は無効になります。
- 画像サイズは用紙の大きさを 1.05 倍（固定）した大きさで判断します。
- この印刷オプションを指定した場合、印刷条件の「自動変倍」を「する」、または印刷オプションの fit の設定は無効になります。
- この印刷オプションを指定した場合、印刷条件の「自動縮小」の設定は無効になります。用紙調整値の指定により、画像を収める用紙サイズの大きさを調整します。
- 用紙調整値の指定によっては、画像が拡大されることがあります。
- 用紙調整値を指定した場合、印刷条件の「自動縮小調整」項目の設定は無効になります。

- 用紙調整値よりも用紙サイズの短辺が小さい場合、異常値となり「自動縮小調整」項目の設定値を使用して計算します。
- 画像サイズは、印刷条件の「実サイズ変倍」、「変倍率」、「横変倍率」、「縦変倍率」の設定値、または印刷オプションの `tiffit`、`mag`、`xmag`、`ymag` の指定値にしたがって拡大・縮小された画像に対して自動縮小するかどうか判断します。
- この印刷オプションを指定すると、印刷条件の「自動変倍」の「する」、または印刷オプションの `fit` の指定が無効になります。



■ 縮小されない大きさ
[用紙サイズ × 1.05倍(固定)]



■ 用紙サイズ

cuttray、nocuttray

カット紙トレイを優先して使用するかどうかを指定できます。

◆ 書式

`cuttray`
`nocuttray`

◆ 指定値と動作

印刷オプション名	動作
<code>cuttray</code>	カット紙トレイを優先する。
<code>nocuttray</code>	カット紙トレイを優先しない

◆ 説明

- ・カット紙トレイが装着されていない場合、この印刷オプションは無効となります。
- ・これらの印刷オプションのいずれかを指定した場合、印刷条件の「カット紙トレイ優先」項目の設定は無効となります。

5

usercode

ユーザーコードを指定できます。

◆ 書式

`usercode= ユーザーコード`

◆ 説明

- ・ユーザーコードにはアスキーコード 8 衔 (0x21 ~ 0x7e(0x22 は除く)) を指定できます。

pj1

`pj1` を指定すると、`qty`、`outbin`、の指定を有効にすることができます。

◆ 書式

`pj1 = on`

◆ 説明

- ・`qty`、`outbin`、を使用するときは、必ず `pj1 = on` と指定します。指定がない場合、これらの印刷オプションは無効となります。

qty

電子ソートの指定をします。

◆ 書式

`qty= ソート部数`

◆ 指定値と動作

- ソート部数は、1~999 の範囲の整数で指定します。

◆ 説明

- 「電子ソート部数」を指定するときは、同時に印刷オプション `pj1 = on` も指定してください。`pj1 = on` が指定されていないと、「電子ソート部数」の指定は無効となります。

outbin

印刷時の排紙先を選択することができます。排紙先は、排紙トレイの名称を指定します。

◆ 書式

`outbin= 排紙トレイ名`

◆ 指定値と動作

- 指定値には、排紙トレイの名称（upper など）を指定します。

指定値	排紙トレイ
upper	上排紙口
lower	下排紙口

◆ 説明

- 指定値の種類は、排紙オプションのセット状況により異なります。
- 「排紙トレイ」を指定するときは、同時に印刷オプション `pj1 = on` も指定してください。`pj1 = on` が指定されていないと、「排紙トレイ」の指定は無効となります。
- 「排紙トレイ」を指定していない場合、または「排紙トレイ」を `manual` 以外の指定値で指定した場合、印刷オプション `bin` の指定は無効となります。

imagedirection

用紙内の画像の向きを 180 度回転するように指定します。

◆ 書式

```
imagedirection=reverse  
imagedirection=normal
```

◆ 指定値と動作

指定値	動作
reverse	用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されます。
normal	通常の向きで印刷されます。

5 printerstamp

ソフトスタンプ機能を使用するための指定をします。

◆ 書式

```
printerstamp=on  
printerstamp=off
```

◆ 指定値と動作

指定値	動作
on	ソフトスタンプ機能が働きます。
off	ソフトスタンプ機能は働きません。

◆ 説明

- ・スタンプ位置は印刷条件の「Z. 画像の向き」（または印刷オプションの orientation）により指定された画像方向を基準にした位置となります。

 **補足**

- ・印字されるスタンプについて詳しくは、『プリンター機能編』「機密印刷ナンバリングやスタンプ印字について」を参照してください。

 **参照**

- ・『プリンター機能編』「機密印刷ナンバリングやスタンプ印字について」

印刷オプションの省略形

印刷オプションには、以下の省略形があります。短いオプション名で指定値を含めて指定することができます。

省略形	印刷オプション
a0r	paper=a0r
a1	paper=a1
a1r	paper=a1r
a2	paper=a2
a2r	paper=a2r
a3	paper=a3
a3r	paper=a3r
a4	paper=a4
b1r	paper=b1r
b2	paper=b2
b2r	paper=b2r
b3	paper=b3
b3r	paper=b3r
b4	paper=b4
s1	paper=s1
s2	paper=s2
s3	paper=s3
s4	paper=s4
s5	paper=s5
s6	paper=s6
s7	paper=s7
s8	paper=s8
s9	paper=s9
po	portrait
la	landscape
t1	tray=1
t2	tray=2
t3	tray=3
t4	tray=4
t5	tray=5
t6	tray=6
tc	tray=C
tt	tray=T

省略形	印刷オプション
ce	center
nce	nocenter
tf	tifffit
ntf	notiffit
ap (=指定値)	autopaper (=指定値)
ep	errorprint
nep	noerrorprint
ma	maxarea
na	normalarea
nsp	normalspeed
hsp	highspeed
ar (= 指定値)	autoreduce (= 指定値)
or (= 指定値)	orientation (= 指定値)

6. 付録

トラブルの対処方法などについて説明しています。

入力データの仕様

プリンターに送信する入力データの仕様について説明します。

印刷できる TIFF ファイル

RTIFF エミュレーションで印刷できる TIFF ファイルには、以下のような制約があります。処理できる TIFF ファイルは、『TIFF Revision 6.0』(Adobe Developers Association著、3-Jun-1992) に準拠したファイルです。

ヘッダー (TIFF ファイル)

6

フィールド	設定値
バイトオーダー	0x4949 or 0x4d4d
バージョン番号	42

ディレクトリー

- マルチページ TIFF データの場合、ディレクトリーとデータがページごとに分離され、各ディレクトリーの末尾の4バイトには次のページのディレクトリーを参照するためのポインターが設定されていること。ポインターの値は、後のページになるほど大きくなっていること。
- マルチページ TIFF データの場合、ページの順序が印刷順（希望する出力順）であること。
- マルチページ TIFF データの最後のページの場合や、シングルページ TIFF データの場合、ポインターの値は 0x00000000 であること。

補足

- 1つの TIFF ファイルの中に複数のビットマップイメージ（画像）を含む TIFF ファイルをマルチページ TIFF データといいます。これに対して、1つのビットマップイメージ（画像）だけの TIFF ファイルをシングルページ TIFF データといいます。
- 制約のためエラーが発生して印刷できないマルチページ TIFF データの場合でも、プリンター本体の印刷条件の「データバッファ」を「ハードディスク」に設定するか、印刷オプションの diskbuffer を指定すると印刷することができます。

タグ

ディレクトリーに含めることのできるタグ（種類と設定値）は、以下のとおりです。

タグの名前（番号）	設定値
ImageWidth (256)	適切な値
ImageLength (257)	適切な値
BitsPerSample (258)	1 or 4 or 8
Compression (259)	1 or 3 or 4
PhotometricInterpretation (262)	0
FillOrder (266)	1 or 2
StripOffsets (273)	適切な値
SamplesPerPixel (277)	1
RowsPerStrip (278)	ImageLength
StripByteCounts (279)	適切な値
MinSampleValue (280)	0
MaxSampleValue (281)	$2^{**\text{BitsPerSample}} - 1$
XResolution (282)	50～1200
YResolution (283)	50～1200
T4Options (292)	0 or 1
ResolutionUnit (296)	2

6

- タグの設定値は、Byte、Ascii、Short、Long、Rational のデータ型で記述されていること。
- タグの値がタグエントリの外に格納されるデータへのポインターの場合、そのポインターはそのタグを含むディレクトリーの後ろ以降でかつ、次のディレクトリーまたはデータの終端より前のデータ領域を指しており、ほかのページのデータ領域を指していないこと。つまり、タグエントリの外に格納されるデータは、そのページ用のデータ領域内にあり、ほかのページ用のデータ領域内に格納されていないこと。
- この制約のためエラーが発生して印刷できない TIFF データの場合でも、プリンター本体の印刷条件の「データバッファ」を「ハードディスク」に設定するか、印刷オプションの diskbuffer を指定すると印刷することができます。印刷条件の「データバッファ」、および印刷オプションの diskbuffer は、指定できない機種もあります。
- RTIFF エミュレーションでは、ImageWidth (256) タグの値、すなわち印刷可能なビットマップイメージの幅には以下の制限があります。

ビットマップの種類	幅の制限値
1ピクセルが2値の画像（モノクロの画像）	65504 ピクセル以下
1ピクセルが多値の画像（グレースケールの画像）	8188 ピクセル以下

ビットマップイメージ (TIFF ファイル)

- ・ビットマップイメージの 1 ページ分の、印刷可能なデータサイズには制限があります。印刷できる最大データサイズは、RTIFF エミュレーションの起動時に確保されるデータ処理用のメモリー量に依存し、イメージデータの格納方法や圧縮方式によっても異なります。データ処理用のメモリー量を VM (KB) とすると、ビットマップイメージの 1 ページ分の印刷可能な最大サイズ (KB) の目安は、 $VM \times 0.5$ になります。ただし、データの格納方法や圧縮方式によっては、このサイズを超える場合でも印刷できることがあります。特に、「印刷できる TIFF ファイル」の仕様と条件を満たす TIFF データでは、実質的にサイズの制限はありません。
- ・データ処理用のメモリー量は、印刷条件リストの「処理用メモリ」で確認できます。印刷条件リストは、操作部やサマリー印刷指定コマンドで印刷することができます。この制限のためエラーが発生して印刷できない TIFF データの場合でも、プリンター本体の印刷条件の「データバッファ」を「ハードディスク」に設定するか、印刷オプションの diskbuffer を指定すると印刷できることがあります。印刷条件の「データバッファ」、および印刷オプションの diskbuffer は、指定できない機種もあります。
- ・1 ページ分のビットマップイメージのデータは、単一のストリップで構成され（複数のストリップに分割されない）、そのページ用のデータ領域（そのページのディレクトリーから次のページのディレクトリーまでの領域）内の最後の情報として格納されていること。
- ・この制約のためエラーが発生して印刷できない TIFF データの場合でも、プリンター本体の印刷条件の「データバッファ」を「ハードディスク」に設定するか、印刷オプションの diskbuffer を指定すると印刷できることがあります。
- ・ストリップデータの先頭の位置は StripOffsets (273) タグの値で参照され、符号化後のデータサイズ（バイト）は StripByteCounts (279) タグの値で明示されていること。
- ・最後のページのストリップデータの末尾のバイトは、その TIFF データの終端バイトであること。
- ・ビットマップイメージのデータには、以下のいずれかの種類のイメージが使用されていること。

ビットマップイメージ	制限
1 ピクセルあたり 1 サンプル 1 ビット (2 色) のモノクロイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・BitsPerSample(258) タグの値は 1 であること。 ・各ピクセルは、サンプル値が 0 の場合は白、サンプル値が 1 の場合は黒であること。
1 ピクセルあたり 1 サンプル 4 ビット (16 色) のグレースケールイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・BitsPerSample(258) タグの値は 4 であること。 ・各サンプルは、サンプル値が 0 の場合は白、サンプル値が 15 の場合は黒であること。
1 ピクセルあたり 1 サンプル 8 ビット (256 色) のグレースケールイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・BitsPerSample(258) タグの値は 8 であること。 ・各サンプルは、サンプル値が 0 の場合は白、サンプル値が 255 の場合は黒であること。

- ・ビットマップイメージのデータは、以下のいずれかの圧縮方式で符号化されていること。

圧縮方式	制限
非圧縮方式	<ul style="list-style-type: none"> ・画像は圧縮されない。各ピクセルのデータは、作成順（スキャナー走査順）に可能な限り詰めて格納される。各行の末尾にはバイト境界を埋めるための任意のデータが付加される。 ・Compression (259) タグの値が 1 に設定され、T4Options (292) タグは含まれないこと。
MH (Modified Huffman) 方式	<ul style="list-style-type: none"> ・この圧縮方式は、ITU-T（旧 CCITT）グループ 3 ファクシミリの 1 次元符号化方式と同じ。 ・この圧縮方式は、2 色モノクロイメージの画像にのみ使用できる。 ・Compression (259) タグの値が 3 に設定され、T4Options (292) タグの値が 0 に設定されていること。
MR (Modified Read) 方式	<ul style="list-style-type: none"> ・この圧縮方式は、ITU-T（旧 CCITT）グループ 3 ファクシミリの 2 次元符号化方式と同じ。 ・この圧縮方式は、2 色モノクロイメージの画像にのみ使用できる。 ・Compression (259) タグの値が 3 に設定され、T4Options (292) タグの値が 1 に設定されていること。
MMR (Modified Modified Read) 方式	<ul style="list-style-type: none"> ・この圧縮方式は、ITU-T（旧 CCITT）グループ 4 ファクシミリの符号化方式と同じ。 ・この圧縮方式は、2 色モノクロイメージの画像にのみ使用できる。 ・Compression (259) タグの値が 4 に設定され、T4Options (292) タグは含まれないこと。

印刷できる CALS ファイル

RTIFF エミュレーションで印刷できる CALS ファイルは、CALS Rastar(Type1) 形式のビットマップイメージデータです。以下のような制約があります。

ヘッダー (CALS ファイル)

CALS データは、その先頭に以下の条件を満たすヘッダーブロックを含んでいる必要があります。

- ・ヘッダーブロック内には、その先頭に 11 個のヘッダーレコードを記述すること。
また、ヘッダーレコードを記述する順番は、データ構造の図に示す通りであること。

レコード ID、設定値 (全て ASCII 文字列)		
(単位 : byte)	0	127
0	srcdocid : 任意	
128 (0x80)	dstdocid : 任意	
258 (0x100)	txtfilid : 任意	
348 (0x180)	figid : 任意	
512 (0x200)	srcgph : 任意	
640 (0x280)	doccls : 任意	
768 (0x300)	rtype : 1	
896 (0x380)	rorient : 000, 270	
1024 (0x400)	rpelcnt : 適切な値	
1152 (0x480)	rdensy : 適切な値	
1280 (0x500)	notes : 任意	
1408 (0x580)	0x20 × 128byte	
1530 (0x600)	0x20 × 128byte	
1664 (0x680)	0x20 × 128byte	
1792 (0x700)	0x20 × 128byte	
1920 (0x780)	0x20 × 128byte	
2048 (0x800)	ビットマップデータ	

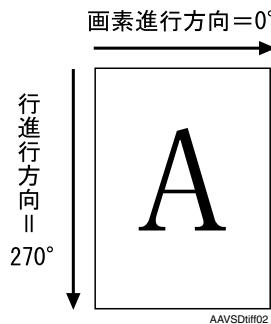
ヘッダーブロック

AAVSDiff01

- ・ヘッダーブロックのサイズは、2048 バイトの固定長であること。
- ・ヘッダーレコードのサイズは、128 バイトの固定長であること。
- ・ヘッダーレコード内は、レコード ID で始まり、2 文字分のセパレーター ":" (コロン (0x3a)) とスペースコード (0x20) を挟んで設定値を記述すること。また、これらはすべて ASCII 文字列で記述すること。
- ・記述すべき有効な情報を持たないヘッダーレコードについては、設定値として "NONE" を記述すること。
- ・ヘッダーレコードやヘッダーブロックの領域を埋めるためのパディングバイトには、スペースコード (0x20) を使用すること。

▼ 補足

- ・処理できる CALS ファイルは以下の仕様書に記載されるデータファイル形式とラスター図形表現の仕様に準拠したものです。
 - ・『MIL-STD-1840A』（米国国防総省発行、22-December-1987）
 - ・『MIL-R-28002B』翻訳版（翻訳版発行 / (財) 日本規格協会）（原文発行 / 米国国防総省発行、30-September-1993）
- ・RTIFF エミュレーションでは、レコード ID "srcdocid" のうち "srcdocid" (8byte) を CALS Raster データとして識別するためのキーワードとして使用します。
- ・レコード ID "rtype" の設定値には、ラスターデータのタイプを指定し、"1" のみ指定可能です。
- ・レコード ID "rorient" の設定値には、ラスター図形の向きを指定します。ラスター図形の画素進行方向、行進行方向の順で指定します。RTIFF エミュレーションでは、以下の画像の向きのみ処理することができます。



- ・レコード ID "rpelcnt" の設定値には、ラスター画像の画素総数を主走査、副走査の順で指定します。なお、RTIFF エミュレーションで処理可能な主走査の画素総数（ビットマップイメージの幅）には制限があります。
- ・レコード ID "rdensity" の設定値には、ラスター画像の画素密度を指定します。
- ・RTIFF エミュレーションでは、レコード ID "rtype"、"rpelcnt" の指定がない場合や設定値が適切でない場合（設定値が "NONE" の場合も含む）、致命的エラーを発生させて処理を中断します。
- ・RTIFF エミュレーションでは、レコード ID "rorient"、"rdensity" の指定がない場合や設定値が適切でない場合（設定値が "NONE" の場合も含む）、警告エラーを発生させて処理を継続します。
- ・RTIFF エミュレーションでは、レコード ID が "srcdocid"、"dstdocid"、"txtfilid"、"figid"、"srcgph"、"doccls"、"notes" のヘッダーレコードは印刷処理に使用することなく、単純に無視します。

ビットマップイメージ (CALS ファイル)

ビットマップデータは、以下の形式でヘッダーブロック直後 (2048byte 目) から記述する必要があります。

- ITU-T 勧告 T.6(グループ 4 ファクシミリ) 符号化方式で圧縮されたモノクロのラスターデータであること。
- この圧縮方式は、MMR (Modified Modified Read) 圧縮方式と同じです。

エミュレーション切り替えコマンド

エミュレーション切り替えコマンドにより、エミュレーションを切り替えたり、プログラムを呼び出すことができます。RTIFF エミュレーションでは、TIFF ファイル、または CALS ファイルの直前または直後に以下の形式で指定します。

書式 (ESC シーケンスの場合)

ESC DC2 ! {p} @ CODE-ID ESC SP

<例：プログラム 1 に切り替える>

ESC DC2 ! 0 @ P1 ESC SP

6

書式 (16 進コードの場合)

1B 12 21 {p} 40 CODE-ID 1B 20

<例：プログラム 1 に切り替える>

1B 12 21 30 40 50 31 1B 20

パラメーター	指定値	説明
p	-1	CODE-ID で指定されているエミュレーションに切り替える。 印刷条件は初期値。
	0	CODE-ID で指定されているプログラム番号のエミュレーションに切り替える。 印刷条件はプログラムに登録されている設定値。
	1~16	CODE-ID で指定されているエミュレーションに切り替える。 印刷条件は、この指定値に対応するユーザーID番号の設定値。(ユーザーID番号は、プログラム登録時、エミュレーションごとに自動的に付加される番号。印刷条件リストに印刷される。)
	省略時	「1」が指定される。

このパラメーターの指定が「1」でかつ自分自身への切り替えが指定された場合、RTIFF エミュレーションではこのコマンドは無視されます。

パラメーター	指定値	説明
CODE-ID	3 文字のエミュレーション名	指定したエミュレーション名のエミュレーションに切り替わる。 パラメーター「p」の指定値は、「0」以外を指定する必要がある。
	P1~P16	指定したプログラム番号のエミュレーションに切り替わる。 パラメーター「p」の指定値は、「0」を指定する必要がある。

指定したエミュレーションが存在しない場合やプログラムが登録されていない場合、このコマンドは無視されます。

3 文字のエミュレーション名で入力できる文字には次のものがあります。

- RTF : RTIFF エミュレーションに切り替える場合に指定します。
- RPS : PS3 エミュレーションに切り替える場合に指定します。
- RGL : RP-GL エミュレーションに切り替える場合に指定します。
- GL2 : RP-GL/2 エミュレーションに切り替える場合に指定します。
- R00 : RPDL エミュレーションに切り替える場合に指定します。
- RCS : RPCS エミュレーションに切り替える場合に指定します。

6

サマリー印刷指定コマンド

サマリー印刷指定コマンドにより、印刷条件リストやプログラム登録一覧を印刷することができます。RTIFF エミュレーションでは、TIFF ファイルの直前または直後に以下の形式で指定します。

補足

- このコマンドは、現在選択されているエミュレーションに対して有効です。RTIFF の印刷条件リストやプログラム登録一覧を印刷したいときは、コマンドを指定する前にプリンターのエミュレーションを RTIFF に切り替えてください。

書式 (ESC シーケンスの場合)

ESC DC2 \$ p SP

書式 (16 進コードの場合)

1B 12 24 p 20

パラメーター	指定値	説明
p	1	印刷条件リストを印刷する。
p	2	プログラム登録一覧を印刷する。

印刷オプション指定コマンド

印刷オプション指定コマンドにより、印刷オプションを指定することができます。RTIFF エミュレーションでは、TIFF ファイル、または CALS ファイルの直前または直後に以下の形式で指定します。

コマンドを指定する前に、プリンターのエミュレーションを RTIFF に切り替えてください。

書式 (ESC シーケンスの場合)

```
ESC DC2 ? z {, option { = value}} {, option { = value}} ...  
{, option { = value}} ESC SP
```

書式 (16 進コードの場合)

```
1B 12 3F 7A {2C option {3D value}} {2C option {3D value}} ...  
{2C option {3D value}} 1B 20
```

パラメーター	指定値	説明
option	印刷オプション名または省略形の文字列	印刷オプションを指定する。
option	印刷オプション名または省略形の文字列	指定値「filetype」は無効。
option	省略時	このパラメーターと対になる value が無視される。

対応していない指定値を指定した場合、このパラメーターと対になる value は無視されます。このパラメーターと value の対は、連続して複数指定することができます。ただし、このパラメーターと同じ値を指定された対が複数ある場合は、最後に指定されている対が有効になります。

パラメーター	指定値	説明
value	印刷オプションの指定値の文字列	印刷オプションを指定する。

対応していない指定値を指定した場合、このパラメーターと対になる option は無視されます。option で指定値のない印刷オプション名や省略形の文字列を指定した場合、このパラメーターは省略します。

補足

- ・文字列の合計は 1,023 バイト以内で入力してください。
- ・印刷オプション指定コマンドは、一度コマンドを指定するとそれ以降に受信したデータの印刷に対して有効になります。ただし、次の場合にはリセットされます。
 - ・エミュレーションが切り替わった場合
 - ・新しい印刷オプション指定コマンドが指定された場合
- ・ネットワークプロトコルが TCP/IP の場合、送信コマンドで印刷オプション (filetype、pjl、qty、outbin、imagedirection を除く) をひとつでも指定していると、このコマンドの指定は無効になります。
- ・印刷オプション名について詳しくは「印刷オプション一覧表」、省略形について詳しくは「印刷オプションの省略形」を参照してください。
- ・印刷オプションの指定値については、「印刷オプション一覧表」を参照してください。

 参照

- P.63 「印刷オプション一覧表」
- P.101 「印刷オプションの省略形」

エラーメッセージ

エラーメッセージについて説明しています。

受信データや印刷オプションの指定などに問題があってエラーが発生すると、警告エラーの場合はプリンターの操作部に、「99: ワーニング」と表示され、致命的エラーの場合は「99: データエラー」と表示されます。これらのメッセージは、次の状態になるまで表示され続けます。

- ・エラーメッセージが印刷された
- ・RTIFF エミュレーションを終了し、別のエミュレーションに切り替えた
- ・次の印刷データの処理を開始した

▼ 補足

- ・警告エラーが発生した場合、エラーが発生した原因が無視され、印刷処理が続行されます。
- ・致命的エラーが発生した場合、いったん入力データの受信処理が中断され、受信済みのデータは破棄されます。描画中のページの内容は、エラーの原因や発生状況により、印刷または破棄されます。なお、両面印刷で裏面ページを描画中だった場合は、表面ページのみ印刷されることがあります。その後、受信処理が再開され、新たな TIFF データまたは ESC シーケンスコマンドの検索、処理が行われます。
- ・システム設定の「エラー表示設定」が「簡易表示」、またはプリンター初期設定の「エラー表示設定」が「簡易表示」に設定されている場合、警告エラーの「99: ワーニング」は表示されません。「エラー表示設定」の詳細について詳しくは、『初期設定編』「エラー表示設定」を参照してください。
- ・プリンタ一本体の印刷処理や装置の問題などにより別のエラーメッセージが表示されることがあります。他のエラーメッセージについて詳しくは、『こんなときには』「メッセージが表示されたとき」を参照してください。
- ・印刷オプションの filetype、pjl、qty、outbin、imagedirection は、指定値が不適切な場合でもエラーはでません。ただし、印刷オプション名が不適切な場合は警告エラーが発生します。

■ 参照

- ・『初期設定編』「エラー表示設定」
- ・『こんなときには』「メッセージが表示されたとき」

エラーメッセージを印刷するには

エラーメッセージを印刷するには、次のようにします。

- ・プリンター初期設定のシステム設定の「エラーレポート印刷」を「する」に設定する。
- ・印刷オプションの errorprint を指定する。
- ・操作部の「一括リスト印刷」または「エラー履歴」でエラー情報を印刷する。
- ・サマリー印刷指定コマンドで、印刷条件リストを印刷する。

補足

- ・RTIFF エミュレーションに切り替えた後に発生したエラー、または前回のエラーメッセージの印刷後に発生したエラーについて、エラーメッセージが印刷されます。エラーが発生していないければ、エラーメッセージは印刷されません。
- ・RTIFF エミュレーションがリセットされた場合、エラーメッセージは印刷されません。
- ・プリンタ一本体の印刷処理や装置の問題などにより発生したエラーメッセージは、システム設定リストに印刷される場合があります。印刷方法について詳しくは、『初期設定編』「テスト印刷」を参照してください。
- ・エラーメッセージを印刷する設定になっている場合、排紙オプション（パンチなど）の指定で印刷中にエラーが発生したときは、エラーメッセージの印刷も排紙オプション（パンチなど）の対象になります。

6

参照

- ・『初期設定編』「テスト印刷」
- ・『初期設定編』「エラーレポート印刷」
- ・P.92 「errorprint, noerrorprint」
- ・P.110 「サマリー印刷指定コマンド」

エラーメッセージの形式と意味

エラーメッセージは、次の形式で印刷されます。

番号 RTF: 種類： エラーメッセージ

- ・「番号」は、6桁の数字で、RTIFF エミュレーションの起動以降に発生したエラーの連続番号です。
- ・「種類」に「Warning」と印刷されたときは警告エラーが発生したことを示します。
- ・「種類」に「Error」と印刷されたときは致命的エラーが発生したことを示します。

警告エラー

警告のエラーについて説明しています。

option: Invalid argument: XXX

印刷オプションの option に不適切な値が指定されました。

- ・印刷オプションを正しく指定して、印刷を実行してください。

option: Invalid value XXX. Cannot specify over max

印刷オプションの option に上限値 max より大きい値が指定されました。

- ・印刷オプションを正しく指定して、印刷を実行してください。

option: Invalid value XXX. Cannot specify under min

印刷オプションの option に下限値 min より小さい値が指定されました。

- ・印刷オプションを正しく指定して、印刷を実行してください。

autopaper: too small allow size XXX

印刷オプションの autopaper の超過率に下限値より小さい値が指定されました。

- ・印刷オプションを正しく指定して、印刷を実行してください。

autopaper: XXX set N %

印刷オプションの autopaper の超過率に % 以外の単位文字が指定されました。

- ・印刷オプションを正しく指定して、印刷を実行してください。

cannot specify value: option = value

印刷オプションの option に範囲外の値が指定されました。

- ・印刷オプションを正しく指定して、印刷を実行してください。

cannot specify value: autoreduce = value

印刷オプションの autoreduce に範囲外の値が設定されました。

- ・印刷オプションを正しく設定して、印刷を実行してください。

Duplex print is released

両面印刷が解除されました。

- ・両面印刷が解除された原因を解消してください。

Invalid option option

不適切な印刷オプションが指定されました。

- ・印刷オプションを正しく指定して、印刷を実行してください。

mag (m) * xmag (xm) < mag min (min)

印刷条件や印刷オプションで決まる横方向の変倍率が下限値 min より小さい値でした。

- ・変倍率に関わる印刷条件と印刷オプションを正しく設定または指定してください。

mag (m) * xmag (xm) > mag max (max)

印刷条件や印刷オプションで決まる横方向の変倍率が上限値 max より大きい値でした。

- ・変倍率に関わる印刷条件と印刷オプションを正しく設定または指定してください。

mag (m) * ymag (ym) < mag min (min)

印刷条件や印刷オプションで決まる縦方向の変倍率が下限値 min より小さい値でした。

- ・変倍率に関わる印刷条件と印刷オプションを正しく設定または指定してください。

mag (m) * ymag (ym) > mag max (max)
 印刷条件や印刷オプションで決まる縦方向の変倍率が上限値 max より大きい値でした。

- ・変倍率に関わる印刷条件と印刷オプションを正しく設定または指定してください。

no disk space.diskbuffer not work

印刷条件の「データバッファ」で「ハードディスク」に設定している場合、または印刷オプションで diskbuffer を指定している場合に、ハードディスクのデータバッファ用の領域に空き容量がない（1MB 未満）ため、ハードディスクが使用できませんでした。

- ・プリンターを再起動してください。再起動してもエラーが解消されないときは、ハードディスクが故障している可能性があります。サービス実施店に相談してください。

no resolution. tifffit not work

受信した TIFF データ内に解像度情報を記述するタグがないため、印刷条件の「実サイズ変倍」または印刷オプションの tiffit が無効になりました。

- ・TIFF データを修正してください。

tiff: tiff_data_error

受信した TIFF データ内に、サポートしていなかったり形式や値が不適切なタグまたはビットマップイメージの情報が含まれていました。

- ・データを修正して、適切な情報を記述してください。

Using mag, xmag, ymag in panel setting

横または縦方向の変倍率が範囲外の値のため、印刷オプションの指定を無視し、印刷条件の変倍率のみ有効にしました。

- ・変倍率に関わる印刷条件と印刷オプションを正しく設定または指定してください。

command: Invalid parameter: XXX

受信したデータ内のコマンド（エミュレーション切り替えコマンド、サマリーアプリケーションコマンド、印刷オプション指定コマンド）に指定したパラメーターが間違っています。

- ・パラメーターを指定し直してください。

command: Invalid format: XXX

受信したデータ内のコマンド（エミュレーション切り替えコマンド、サマリーアプリケーションコマンド、印刷オプション指定コマンド）の書式が間違っています。

- ・書式を確認し、コマンドを記述し直してください。

CALS: CALS_data_error

受信した CALS データ内に、サポートしていなかったり形式や値が不適切なヘッダーレコードまたはビットマップイメージの情報が含まれていました。

- ・データを修正して、適切な情報を記述してください。

致命的エラー

致命的エラーについて説明しています。

BitsPerSample(n) of photometric(m) is not supported

受信した TIFF データは、RTIFF エミュレーションが対応していない形式でした。

- TIFF データを修正してください。

CALS: No space

受信した CALS データの処理に必要なメモリーの容量が不足しました。

- データを修正してデータサイズを減らしてください。

CALS: No memory

受信した CALS データの処理に必要なメモリーの容量が不足しました。

- データを修正してデータサイズを減らしてください。

CALS: CALS_data_error

受信した CALS データ内に、サポートしていない形式や値が不適切なヘッダーレコードまたはビットマップイメージの情報が含まれていました。

- データを修正して、適切な情報を記述してください。

Cannot get color map

受信した TIFF データ内にカラーマップの情報が記述されていませんでした。

- TIFF データを修正してください。

Cannot get image length

受信した TIFF データ内にビットマップイメージの高さを表す情報が記述されていませんでした。

- TIFF データを修正してください。

Cannot get image width

受信した TIFF データ内にビットマップイメージの幅を表す情報が記述されていませんでした。

- TIFF データを修正してください。

Invalid image length(l)

受信した TIFF データ内のビットマップイメージの高さを表す値が不適切でした。

- TIFF データを修正してください。

Invalid image width(w)

受信した TIFF データ内のビットマップイメージの幅を表す値が不適切でした。

- TIFF データを修正してください。

Out of memory

受信した TIFF データの処理に必要なメモリーが不足しました。

- データを修正してデータサイズを減らしてください。
- ハードディスクを装着し印刷条件に「データバッファ」がある機種は、印刷条件の「データバッファ」を「ハードディスク」に設定するか、印刷オプションの diskbuffer を指定して印刷してください。
- プリンター初期設定の「システム設定」の「優先メモリー」を、「ユーザーメモリー」に変更してください。

Photometric(n) is not supported

受信した TIFF データは、RTIFF エミュレーションが対応していない形式でした。

- TIFF データを修正してください。

Raster file size is too big

受信した TIFF データのサイズが大きすぎて、処理用のメモリーが不足しました。

- ・データを修正してデータサイズを減らしてください。
- ・ハードディスクを装着し印刷条件に「データバッファ」がある機種は、印刷条件の「データバッファ」を「ハードディスク」に設定するか、印刷オプションの diskbuffer を指定して印刷してください。
- ・プリンター初期設定の「システム設定」の「優先メモリー」を、「ユーザーメモリー」に変更してください。

受信した TIFF データは、RTIFF エミュレーションが対応していない形式（データ格納順序）でした。

- ・TIFF データを修正してください。
- ・ハードディスクを装着し印刷条件に「データバッファ」がある機種は、印刷条件の「データバッファ」を「ハードディスク」に設定するか、印刷オプションの diskbuffer を指定して印刷してください。

Raster file width is too big

受信した TIFF データ内のビットマップイメージの幅が大きすぎて、処理できませんでした。

- ・TIFF データを修正して、イメージデータの幅を減らしてください。

Rest of lines will be ignored

エラーなどが発生したため、残りのデータを無視しました。

- ・エラーの原因を解消してください。

SamplesPerPixel(n) of photometric(m) is not supported

受信した TIFF データは、RTIFF エミュレーションが対応していない形式でした。

- ・TIFF データを修正してください。

tiff: No space

受信した TIFF データの処理に必要なメモリーが不足しました。

- ・データを修正してデータサイズを減らしてください。
- ・ハードディスクを装着し印刷条件に「データバッファ」がある機種は、印刷条件の「データバッファ」を「ハードディスク」に設定するか、印刷オプションの diskbuffer を指定して印刷してください。
- ・プリンター初期設定の「システム設定」の「優先メモリー」を、「ユーザーメモリー」に変更してください。

tiff: No memory

受信した TIFF データの処理に必要なメモリーが不足しました。

- ・データを修正してデータサイズを減らしてください。
- ・ハードディスクを装着し印刷条件に「データバッファ」がある機種は、印刷条件の「データバッファ」を「ハードディスク」に設定するか、印刷オプションの diskbuffer を指定して印刷してください。
- ・プリンター初期設定の「システム設定」の「優先メモリー」を、「ユーザーメモリー」に変更してください。

tiff: tiff_data_error

受信した TIFF データ内に、サポートしていなかったり、形式や値が不適切なタグまたはビットマップイメージの情報が含まれていました。

- ・データを修正して、適切な情報を記述してください。

TIFF tiled image is not supported

受信した TIFF データは、RTIFF エミュレーションが対応していない形式でした。
・TIFF データを修正してください。

参照

- ・『初期設定編』「優先メモリー」

思いどおりに印刷できないとき

印刷が始まらないとき、思いどおりに印刷できないときについて、対処方法を説明します。

TIFF データ、または CALS データが縮小（、または拡大）されて印刷される

プリンターの解像度と TIFF データ、または CALS データの解像度が異なるために発生しています。

TIFF データと同じ解像度を印刷条件や印刷オプションで設定してください。

TIFF データと同じ解像度が設定項目に無い場合、または複数の解像度が混在する場合は印刷条件の「T. 実サイズ変倍」を「する」、または印刷オプションの「tifffit」を指定してください。

画像イメージが用紙の片端に寄って印刷される

印刷条件の「S. 印字領域」を「最大」、または印刷オプションの「maxarea」を指定するか、印刷条件の「O. 中央配置」を「する」、または印刷オプションの「center」を指定してください。

主に図面系データを印刷される場合に設定、または指定することをおすすめします。

横長の TIFF データ、または CALS データが縦方向に印刷され、画像が切れてしまう

印刷条件の「5. 印刷方向」の初期値が「ポートレイト」に設定されているためです。横長のデータを正しく用紙に印刷するには、印刷条件の「5. 印刷方向」を「ランドスケープ」に設定するか、印刷オプションの「landscape」を指定してください。

または、印刷条件の「U. 自動用紙選択」を「する」に設定するか、印刷オプションの「autopaper」を指定することでもデータに合わせた用紙方向で印刷することができます。

自動トレイ選択ができない

印刷条件の「U. 自動用紙選択」を「する」、または印刷オプションの「autopaper」を指定します。

自動トレイ選択で 1 つ大きい用紙サイズが選択される

スキャナで作成した TIFF データは、指定した定形サイズより若干大きく作成される場合があります。

そのような場合は、印刷条件の「U. 自動用紙選択」を「する」に加え、「V. 用紙超過率」を設定するか、または印刷オプションの「autopaper」にオプションの「超過率」を指定します。

印刷オプションの記述例：autopaper=10%

印刷がうまくいかない

本体パネルに「99. ワーニング」、または「99. データエラー」が表示されている場合は、エラーメッセージの詳細を印刷し、対処してください。

本体パネルにエラーが表示されている状態で RTIFF の「印刷条件一覧」を印刷するか、印刷条件の「Q. エラー印刷」を「する」、または印刷オプションの「errorprint」をエラーメッセージが出た印刷設定に追加してもう一度 TIFF データを印刷をすると、エラーメッセージの詳細が表示されます。

他のエミュレーションに切り替えたり、プリンターの電源を OFF するとエラーメッセージの詳細は解除されていますので、注意してください。

エラーメッセージの詳細については、「エラーメッセージの形式と意味」を参照してください。

大量枚数のマルチ TIFF データが全ページ印刷できない

RTIFF が使用するメモリー領域が少ない場合があります。

印刷条件の「W. データバッファ」を「ハードディスク」、または印刷オプションの「diskbuffer」を指定してください。

大きい用紙サイズで、大容量の TIFF データ、または CALS データが印刷できない

RTIFF が使用するメモリー領域が少ない場合があります。

印刷条件の「W. データバッファ」を「ハードディスク」、または印刷オプションの「diskbuffer」を指定してください。データ量が多いため処理に時間がかかることがあります。データインランプが点滅していれば、プリンターにデータは届いています。そのまましばらくお待ちください。

印刷条件の「T. 実サイズ変倍」、または印刷オプションの「tiffit」を指定すると印刷が遅い

TIFF データ、または CALS データの解像度がプリンターの解像度と異なるため、変倍処理に時間がかかっています。

TIFF データ、または CALS データと同様の解像度を印刷条件、または印刷オプションで指定してください。

プリンター初期設定の「システム設定」の「優先メモリー」を、「ユーザーメモリー」に指定することで改善される場合もあります。

TIFF データ作成時（スキャン時）に生じる、データ端の影を除いて印刷したい

印刷条件の「A. 右余白」「C. 下余白」、または印刷オプションの「rightspace」「bottomspace」を指定します。

この設定は、TIFF データを“白”で上書きします。データ左端、上端の影を除くことはできません。

A3 よりも大きい画像データは A3 に縮小印刷、A3 以下の画像データは等倍印刷を行いたい

印刷条件の「b. 自動縮小」で「A3 に縮小」又は印刷オプションで「autoreduce=A3」と指定します。

出力する TIFF データの解像度がプリンターの解像度と異なる場合には、出力する TIFF データのサイズ検知が正しくできませんので、「TIFF データが縮小（又は拡大）されて印刷される。」を見て対処してください。

自動用紙選択も同時に起こらない場合は、印刷条件の「U. 自動用紙選択」を「する」、または印刷オプションの「autopaper」も指定します。

RPCS ドライバーの「集約印刷」と同様の印刷をしたい

印刷条件の「H. マルチカラム」「I. マルチロー」、または印刷オプションの「multicols」「multirows」を指定すると、「集約印刷」と類似の結果を得ることが可能になります。

マルチ TIFF データをファイル単位で部数指定したい

印刷オプションの「qty」を指定してください。このとき「pj1 = on」もあわせて指定してください。

lpr 印刷時に、プログラム No の指定や印刷オプションを指定したい

プログラム No の指定や印刷オプションの指定方法については『ネットワークガイド』、「オプション指定」を参照してください。

両面印刷時、綴じる方向とは逆側に画像をずらしたい

両面印刷で左綴じを行なう場合、印刷条件の「左余白」、または印刷オプションの leftspace を指定すると、裏面も左側に余白が出来てしまい、綴じる方向とは逆側に画像がずれません。

そのような場合は、「左余白（leftspace）」ではなく印刷条件の「X マージン」、または印刷オプションの（xmargin）を指定します。上綴じの場合は、「Y マージン」（ymargin）を指定してください。

6 カラーの TIFF データ、または CALS データの出力について

RTIFF エミュレーションで出力できるカラー TIFF データ、または CALS データには制限があります。

- ・圧縮形式：非圧縮
- ・画像サイズ：幅が 8188 ピクセル以下

詳細は「入力データの仕様」を参照ください。

カラー出力には対応していませんので、すべて白黒で出力されます。

RTIFF で出力できる TIFF データ、または CALS データの上限について

RTIFF で出力可能な TIFF データ、または CALS データのサイズは、幅（横方向）のピクセル数に制限があり、最大値は TIFF データ、または CALS データの解像度に依存します。幅が上限を超ってしまった場合は、TIFF データ、または CALS データを 90 度、または 270 度回転して幅と長さ（縦方向）が逆になるよう保存しなおしてください。長さには制限はありません。また TIFF データ、または CALS データの容量について制限はありませんが、大容量データの出力には時間をする場合があります。

幅（横方向）のピクセル数制限については、「入力データの仕様」を参照してください。

参照

- ・P.103 「入力データの仕様」
- ・『ネットワークガイド』「オプション指定」

索引

アルファベット索引

autopaper 51, 52, 87
autoreduce 57, 59, 96
autotray 38, 70
bin 70
bottomspace 42, 77
brightness 47, 83
center 47, 84
contrast 47, 84
copies 72
cuttray 54, 98
diskbuffer 52, 93
DOS/V パソコン 14, 15
dpi 40, 72
errorprint 49, 92
filetype 66
fit 48, 85
freesize 91
ftp コマンド 16
highspeed 56, 95
imagedirection 100
landscape 39, 71
leftspace 41, 74
mag 40, 73
maxarea 49, 93
memorybuffer 52, 93
multicols 44, 80
multirows 45, 81
negative 46, 83
noautotray 38, 70
nocenter 47, 84
nocuttray 54, 98
noerrorprint 49, 92
nofit 48, 85
normalarea 49, 93
normalspeed 56, 95
notifffit 50, 86
orientation 55, 94
outbin 99
paper 37, 68
pj 98

portrait 39, 71
positive 46, 83
PostScript 3 編 1
printerstamp 100
qty 99
rightspace 41, 75
RP-GL/2 編 1
RTIFF エミュレーション 7
RTIFF 編 1
tifffit 50, 86
topspace 42, 76
tray 36, 67
UNIX ワークステーション 13
usercode 98
xmag 46, 82
xoffset 43, 78
X オフセット 78, 43
ymag 46, 82
yoffset 43, 79
Y オフセット 79, 43

あ行

明るさ 47, 83
印刷オプション 61
印刷オプション一覧表 63
印刷オプション指定コマンド 111
印刷オプション設定項目 66
印刷オプションの指定方法 62
印刷オプションの省略形 101
印刷準備 8
印刷条件設定項目一覧表 33
印刷条件の設定 20
印刷条件の設定項目 36
印刷条件リストの印刷 22
印刷条件リストの見方 23
印刷速度 95
印刷できる CALS ファイル 107
印刷できる TIFF ファイル 103
印刷部数 72
印刷部数設定 31
印刷方向 39, 71
印刷領域 49, 93

上余白	42, 76
エミュレーション切り替えコマンド	109
エミュレーション検知	66
エミュレーションの切り替え	19
エラー印刷	49, 92
エラーメッセージ	113
エラーメッセージの印刷	114
エラーメッセージの形式と意味	114
エンジン解像度	40, 72

か行

画像の向き	55, 94
画像方向	94
カット紙トレイ優先	54, 98
給紙トレイ	36, 67
給紙トレイ選択	30
クリックガイド	1
警告エラー	115
この本の読み方	6
コピー機能／ドキュメントボックス 機能編	1
コントラスト	47, 84
こんなときには	1

さ行

サマリー印刷指定コマンド	110
下余白	42, 77
実サイズ変倍	50, 86
自動縮小	57, 96
自動縮小調整	59
自動変倍	48, 85
自動用紙選択	51, 68
使用説明書	1
初期設定編	1
白黒反転	46
スキャナー機能編	1
セキュリティ編	1
速度優先	56, 95

た行

タグ	104
縦変倍率	46, 82
致命的エラー	117
注意事項	9
中央配置	47, 84

著作権表示	10
ディレクトリー	103
データバッファ	52, 93
電子ソート部数	99
トラブルシューティング	120

な行

入力データの仕様	103
ネットワークガイド	1
ネットワーク接続	15

は行

排紙トレイ設定	70
パラレル接続	14
左余白	41, 74
ビットマップイメージ (CALS ファイル)	109
ビットマップイメージ (TIFF ファイル)	105
不定形オートカット	53
プリンター機能編	1
プログラム削除	27
プログラム登録	24
プログラム内容の印刷	29
プログラム呼び出し	26
ヘッダー (TIFF ファイル)	103
変倍率	40, 73
本機のご利用にあたって	1

ま行

マークについて	6
マニュアル一覧	2
マルチカラム	44, 80
マルチロー	45, 81
右余白	41, 75

や行

用紙サイズ	37
用紙超過率	52, 87
横変倍率	46, 82

ら行

リミットレス給紙	38, 70
----------	--------



商標

- IBM、DOS/V は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- ドキュメントボックス、RPCS、RP-GL/2、RTIFF は株式会社リコーの商標または登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows NT®、MS-DOM®、Windows Server®、Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

- * MS-DOS の製品名は、Microsoft® MS-DOS® です。
- * Windows 95 の製品名は、Microsoft® Windows® 95 です。
- * Windows 98 の製品名は、Microsoft® Windows® 98 です。
- * Windows Me の製品名は、Microsoft® Windows® Millennium Edition(Windows Me) です。
- * Windows 2000 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft® Windows® 2000 Professional
 - Microsoft® Windows® 2000 Server
 - Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server
- * Windows XP の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft® Windows® XP Home Edition
 - Microsoft® Windows® XP Professional
- * Windows Vista の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft® Windows Vista® Ultimate
 - Microsoft® Windows Vista® Business
 - Microsoft® Windows Vista® Home Premium
 - Microsoft® Windows Vista® Home Basic
 - Microsoft® Windows Vista® Enterprise
- * Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition
 - Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition
 - Microsoft® Windows Server® 2003 Web Edition
- * Windows NT 4.0 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft® Windows NT® Server 4.0
 - Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0

★ 重要

- ・本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスしたり本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。
- ・本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本機の使用により生じた損害について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

- 1.本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 2.本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
- 3.本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。



使用説明書 <RTIFF 編>